處女の友

第二巻第六號

大正八年八月一日發行（毎月一回一日發行）
大正七年十二月二十三日第三種郵便物認可

2巻6号

處女會中央部發行

追悼號 井上友一君

斯民七月號　本號に限　定價金五拾錢

自治の神と推稱され地方篤志家等の崇敬の中心たりし故井上友一博士の追悼號出づ!!

▣肖像及筆蹟（少年時代より現今に至る數十葉）
▣最後の訓示（東京府知事としての）
▣絶筆の草案『戰後必行要項』
□噫六月十二日……岩田内務部長
追懷談　前田侯爵、石黑男爵、坂谷男爵、澁澤男爵、岡田忠彦、道源權治、月川殘花、田子一民、水野錬太郎、志村源太郎、德富猪一郎、馬淵鋭太郎、窪田靜太郎、松波仁一郎、阪本彡之助、高木亥三郎、中川望、淸水澄、堀信次、酒井泰、星野錫、長谷川久一、坂井義三郎、地方篤志家
□自治制度の第一人者……床次内相
□自治に魂を吹込んだ人……一木博士
▣恪勤精勵の人……江木千之、桐島像一、水野博士、原澂
▣畏き邊の特別の御沙汰……大森男爵
▣學生の模範公人の龜鑑……北條時敬
▣新しき官僚の典型……桑田博士
▣自治の本領を體得せる人……添田敬一郎
▣行政官として得難き人材……道家齊
▣忠實奉公の權化……鶴見左吉雄
□現代の樂翁公……清水長太郎
府知事として
▣身代限を爲す……土岐債
▣治績……東園基光
▣討死の覺悟……下村壽一
▣普に渇せる人……湯原元一
▣實行の人……矢作博士
▣國の資……山崎延吉
追悼詩歌……森正隆、池邊義家、闕府稀德
□府葬の記……▣用辭及輓歌▣諸新聞讚辭

東京市麹町區永田町一丁目
中央報徳會
振替東京九七〇〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

中央部より

暑氣相加り候處皆様は壯健の御事と存じ賀し上候。每度發行相後れ候へども、是からは決して期日に後れまじく、御安心被下度候。

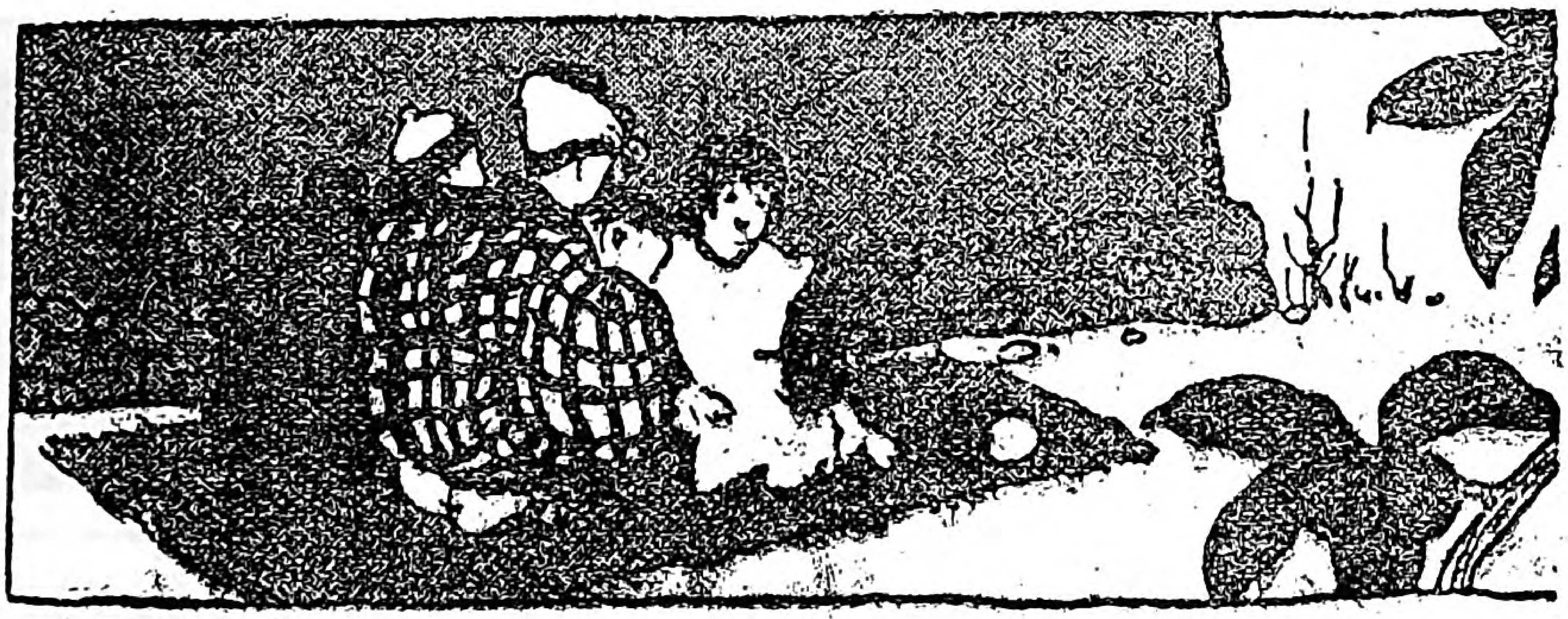
八月五日より三日間天野理事和歌山縣伊都郡に於ける郡婦女會指導者講習會に出張致し候。其より三重縣に赴き志摩郡和具安乘波切諸村に參り漁村處女會視察の豫定に御座候。

處女會に關係の方々は是非とも同理事に御親接相成度、其他に處女會等の催しあらば、出演致さるゝことに候へば御希望の向は、伊都郡役所宛(五日より三日の間に)御申越下され度候。暑中の砌折角御健康を保たれたく願上候。

大正八年七月

處女會中央部

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



処女の友

八月號目次

第二巻第六號

平和記念と田園の勝利
地方處女會の活動

□記事

□巻頭（汗の味）……一
□明治天皇の御製……二
□田舎の大勝利……四
□農村の婦人へ……山脇房子……八
□華族の娘さんと田舎の娘さん……天野藤男……三
□親孝行のお手本……一四
□通俗電氣の心得……一四
□大正お金のなる木……岡部榮信作……一六
□處女家を興す……山崎延吉……一七
□妻をなくした私の經驗……佐多博圃……二〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

□處女と一日一善……山本瀧之助……二三
□活きた學問……二七
□ゆかしい野唄……二九
□營養と食物の話……内務省……三三
□漁村の處女會……三六
□二宮ふみ子……三八
□處女會にすゝめたきこと……四二
□婦女會則……四五
□子守唄……四五
□お笑ひ話……四八
□母の會……四九
□旅の思ひ出……五〇
□重役の奥さんと土地の娘さん……五二
□處女新聞……五四
□全國處女會一覽……五五
□處女通信考へ物……五七
□編輯便り……五八

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

處女會中央部設立趣旨

輓近地方青年及青年團教養の機運漸く熟し、之が指導啓發の機關設備頓に整備せんとするは、地方開發國運伸暢の上に慶賀に堪へざる所なりと雖も、翻つて彼人等青年の姉妹ともいふべき地方婦人を省みるに、その修養の機關甚だ乏しく、識者亦深く此の問題に關心する所なきが如くなるは、我等の甚だ遺憾とする所なり。

抑々地方青年と地方處女とは、車の兩輪の如く、鳥の双翼の如く、地方經營の上に其の孰れをも偏重すべからず。如何に青年團體の活動に由て、地方青年の智識進歩し德性向上すとも、地方處女の修養自覺之に伴はざれば、地方の風紀完きを得ざるべく、延いて家庭改善の實を擧ぐることも至難なるべし。青年をして次の時代の善良なる公民たらしむることの必要なると同時に、處女をして其が好適なる配偶者たらしむることの必要も、亦言を俟たざる所なり。

殊に世運の日進するに伴ひ、或は農家の經濟に、或は副業の普及に、或は育兒に、割烹に、裁縫手藝に、禮法看護に、地方婦人の進歩向上に俟つべきもの頗る多く、彼等の實務使命月に日に重大を加へんとす。況んや歐洲の戰爭は、婦人の地位職能に一大革新を促し國家の運命も半ば婦人の實力の有無に由て決せられんとする實證を目前に示せるに於てをや。此の際、國家の根底をなせる地方町村の婦人を覺醒發奮せしめ、男子と相列んで個人的に國家的に修養努力せしむること、極めて〳〵切要なり。

近時、町村處女會の設立せらるゝもの漸く多きは、蓋し時勢の然らしむる所なるべく、獻替に堪へざる次第なるが、然も之を、男子青年團體の發達普及に比すれば未だ日を同じうして語るべからず。此に於てか、我等は尚一層地方處女會の設置を促進し、地方處女の修養に資し、自覺を促さんが爲め、東京に處女會中央部を設立し、以て全國各地方處女會の相互連絡を圖り、其擁護啓導に努め、或は地方處女會に對する巡廻講演を開始し、或は處女會指導者の講習會を催し、或は地方婦人問題に關する世人の注意を喚起し、或は出京する地方處女の爲に職業紹介其他の方法により便宜を與へ、更に進んでは移民植民の計策を講じ、地方振興の根本に策應し、之を小にしては地方婦人の爲めに幸福なる前途を開拓し、之を大にしては國家根本の活力充實に貢献せんとす。

方今、都市の發達繁榮するに伴ひ、地方農村の荒廢著しく、妙齡の處女にして父祖傳來の農業を嫌忌し、都門の幻影に憧れて、目的もなく出京するもの頗る多く、延いて地方青年男子の愛鄕心をも沮喪せんとする傾向あるは、少しく農村の實情を知るもの丶熟知し且憂ふる所なり。如何に男子青年團體が剛健素樸の氣風を養成するに自ら努むとも、彼人等青年の對象たる地方處女にして、虚榮の風に憧れ驕奢の態を喜ぶが如くんば、地方改良の目的を達すること至難なるべし。

斯る見地よりするも、處女會の設置は刻下の急務たること瞭乎たり。而して、之が設置を普及せしめ、之をして堅實なる針路に向はしむる爲めの處女會中央部設立は、一層刻下の急務なりと言はざるべからず。江湖諸賢、希くは、國家の根本的發達を期する趣旨に於て、我が處女會中央部の設立に贊成せられんことを。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

今年の出來秋 (平和記念ゑはがき)

(説明をみること)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

地方處女會の活動

福島耶麻郡奥川村梨平裁縫傳習修了所記念

靜岡縣濱名郡中瀬村第三處女會

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

汗の味

汗を出すとのどがかわく、かわくと水がをいしい。汗を出すと身體がぬれる、ぬれると行水のねうちが出ます。働くとつかれる、つかれるとごはんがをいしく、夜よくねむれます。忙しいといろ〳〵のことを考へない。考へないと頭がせい〳〵し、氣分もよくなります。汗を出して、よく働く正直な人はからだが丈夫になり、よくねられ、ごはんもをいしく、一家も繁昌します。あゝ汗のねうち、汗のたふとさ、皆様汗を出す人は仕合せですよ。汗の味を知る人は、人生を知る人です。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

明治天皇の御製

——農民の勞苦に大御心を注がせ給ふ——

○

暑しともいはれざりけり煑えかへる
水田に立てる賤を思へば

土用のあつい盛りに、農夫は水田の稻と稻との間に生えてゐる雜草をとります。之を俗に田の草取りと申します。一寸見ますと、そんなに澤山の草も生えてゐないようですが、あれでなか〳〵邪魔になる草がはびこつてゐるのです。そして是は多く主婦や處女のつとめなのです。

家の中に居つてさへ暑いのに、まして炎天の泥田の中に、膝から腰のあたりまで沒して働きます處女の骨折りは大抵のことではありませぬ。ひと田の草をとり終つて畦に立つた娘の顏は、稻の葉先きですれて血が滲み、足は蛭に食はれて血が溜つてゐるのが普通です。毒と知りつゝがまんが出來ずにのどがかわいて泥田の水を飲む女もあります。國民は農夫の苦勞を察して尊敬しなければなりませぬ

然しながら、一天萬乘の大君が、農夫の田の草とりにみ心を注がせ給ひ、かゝる勿體ない御歌を下されましたことは農民の恐懼に堪へぬことで、今更ながら、農を重んじさせ給ふ我皇室の御惠みの

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

宏大なるに感涙をとゞめあへぬ次第でございます。

○

窓の中に扇とりてもあつき日に
照る日をうけて小草刈る見ゆ

是も農民のなりはひに大御心を注かせ給ふ勿體ないお歌でございます。恐れながらこのお歌は『窓から風をよんで、扇を使つてゐてさへ暑い日に、天日に照らされて農夫が草を刈つてゐるのがよく見える、どんなにか暑い苦しいことであらう』との農民の勞苦をみそなはされ、御あはれみの情を催されてのお歌と拜し奉ります。

道ばたや、畑の草は夏に一番よく生長しますが、炎天に刈り取つて往來に干しますと、すぐ枯れてしまひます。其を肥料にするのです。邪魔になるばかりで刈るのではありませぬ。

都會の中學校女學校の生徒が夏のお休みで故里にかへり、又は景色のよい所に避暑してゐる時に、田舍の青年や處女は草を刈つたり、草を取つたりして、熱い汗を流してゐます、土も燒け、石も燒けもつ鍬さへ燒けて、目まひする時もあると申します。埃と汗と一所になつて目の中に滲み込み、目をわるくする娘もあります。蛇や毒蟲殊にまむしに用心しなければなりませぬ。野の青年處女はお國の寶でございます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

田舍の大勝利

（一）物價の大騰貴

三千億萬圓のお金をつかひ、六百萬人といふ澤山の戰病死者を出しました世界の大戰爭も、聯合軍の大勝利で終りましたが、日本の國の內輪の樣子をみますと、勝つた〳〵で浮かれてゐることは出來ません。物價騰貴で國民の生活はたいへん不安になつて來ました。お米も高い、お味噌も高い、着物も高い、下駄も高い、お菓子も、筆も紙も澤庵も、凡ての日用品はみんな高くなつて來ましたので、主人は勿論主婦は非常な心配です。

衣食足つて禮節を知ると申します。わきても食物は大事です。おなかがへつて來ますと、禮儀はみだれます。人の考へがみだれて來ます。生活の安定といふことは、人間の共通の望みです。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

（二）米ッ豆ッと呼びすて

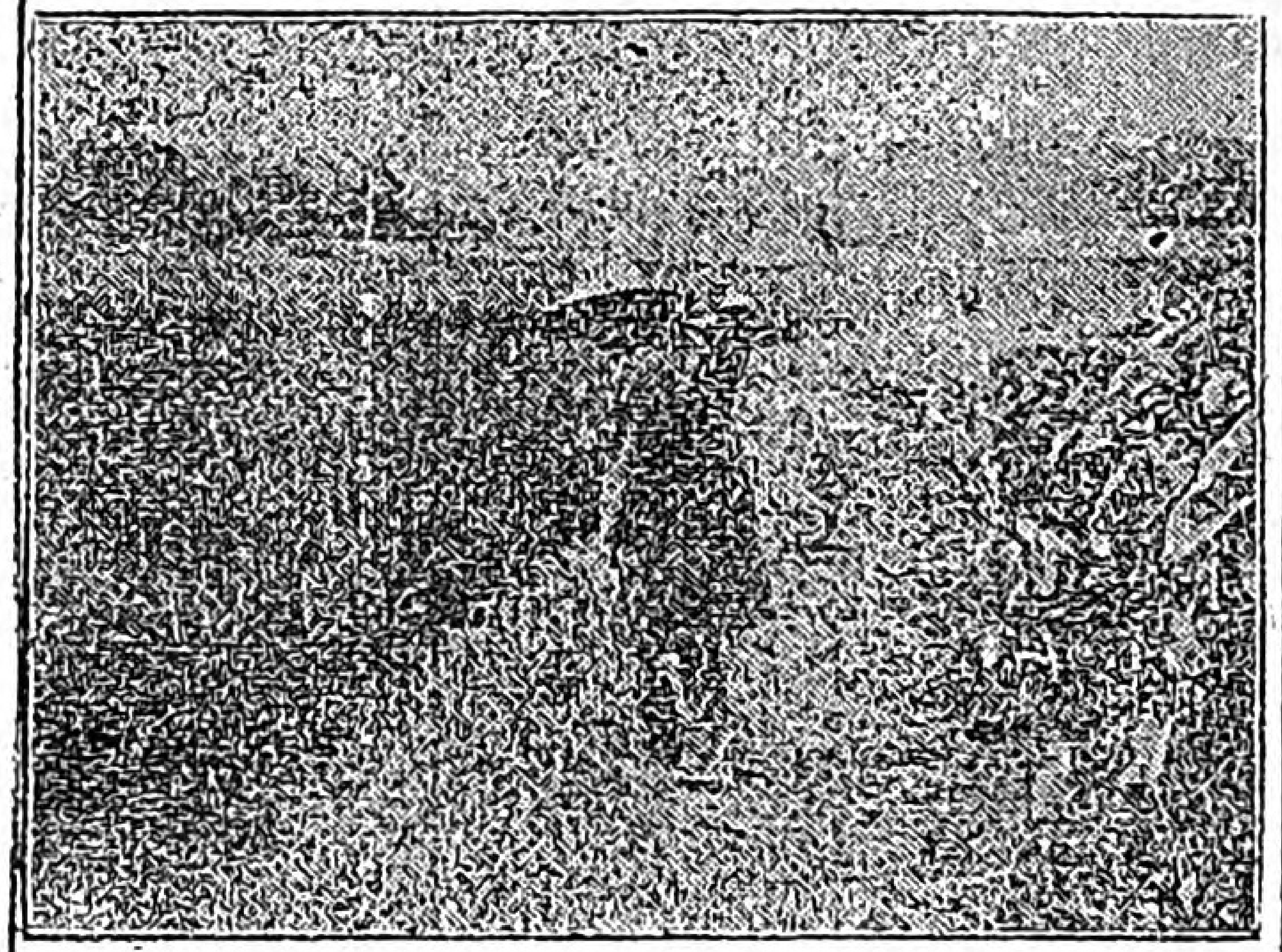
物價は日本國中一樣に高くなりました、然し一番ひどくその影響を受けてゐますのは、町に暮らしてゐる人です、町の月給取であります。其はどういふ譯でせうか。

先づ第一番に、お米が高い、お米は毎朝毎晩たべねばならぬ生命の素です。田舍の人もお米が高いので困つてゐる人もありませうが大ていは自分で作りますので却つて喜んでゐます。米がなければ麥もある。米や麥を高く*

*賣つて安い外國米を買ふことも出來ます。とにかくお米の心配がない。

次はお菜であります。茄子でも胡瓜でも豆でも南瓜でも、梅干でもたいていは買はずに濟む。どんなに凶年でも畑のものがとれぬことは少い。牛肉や魚でも買はねばなりませぬが大ていの惣菜は畑のもので濟む。是ほど心强いことはありませぬ。

ある人が申しました、町の人はお米、お豆お茄子など丶五穀野菜におの字をつけて呼ぶ、是はお行儀がよいからではなく、ふだん買ひ食だからもつたいをつけていふ、そこへゆくとお百姓は元氣です、自分で作るから頭から米ッ豆ッ茄子ッとよびすてにしますと面白いことを申しました。



野良ゆき

芋の葉の露がパラ〳〵とこぼれます。稲は場よし伸びてゐます。一人の農夫が鍬をかついで耕作に出かけましたが、母『父ちやんあたしもよ』と後から五郎が呼かけて來たかで、お父さんちよつとふり返つたところを、寫眞にとつたのです

電車も通らず、馬車も通らず、空氣は淸く、山は青い、是からはこういふ姿がハイカラとして町の人からうらやまれます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

(三) たゝみ一疊一圓五十錢

次は家です、町の人はたいてい家をもつてゐませぬ、お金持は日本橋の眞中に大きな庭のある立派な家をもつてゐますが、大ていの人は貸家に家賃を出して住んでゐます。その家賃が非常に高いのです、二疊の玄關に四疊半の茶の間と六疊の座敷位な家でさへ一ケ月の家賃が十圓から十五六圓位します。便利な所でしたら二十圓も三十圓もします。二十圓や三十圓の月給取でどうしてこういふ家に住めませう。さればとて女房子供のある所帶で、下宿住ゐも出來ません。そこでめつきり困つて來たのです。

夫婦ぐらしの人や、書生などは、下宿屋に泊つてゐます。下宿屋と申しますのは、下等の宿屋のような所で、六疊とか、四疊半とか、さういふ部屋がたくさんあつて、其を人に借せ、一ケ月幾らといふ室代をとり、賄もするのです。たいてい疊一疊敷が一圓から一圓五十錢ですから六疊で六圓から八圓位、之に食料の十五六圓(一人分)を加へますと、ひと部屋に寢て食ふだけで二十五六圓はかゝります。地方から來てゐます中學生はたいてい二十五圓から四十圓位づゝ父兄からいただいてゐるさうです。女學生で下宿にゐるものは少いさうですが、親類や保證人の家に厄介になつてゐても、一ケ月三十圓位はかゝるさうです。

然らば皆樣はご自分の家をもつてゐらつしやる。よし小さくとも、古くとも、家賃の出ない、歷史のある、思ひ出深いお家に住んでゐらつしやる。こんな心强いことがありませうか。自分の家と思へばこそ庭もうれしいのです、道具も一層大事にするのです。となり近所とも仲よくなるのです。

(四) 土地は大きな財産

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

次は着物です、着物は田舍の人も買ひますが、田舍の人はその暮らしがヂミで、交際も張りまぬせから、粗末な服裝でも暮らせます。その中でもお百姓は、土に親しむのが商賣ですから粗末な、身輕な服裝で結構です、質素な服裝をしてゐる人ほど、神樣から可愛がられます。作物もよく出來ます。自分の仕事するに丁度よい着物が一番よい着物なのです。

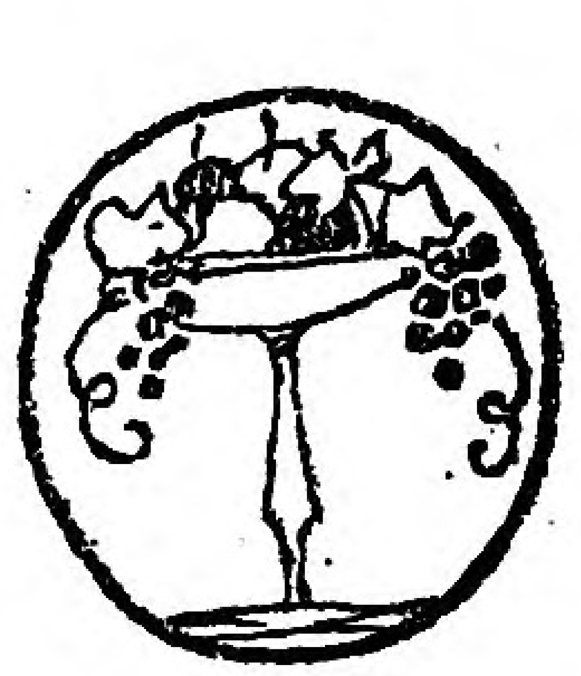
所が町の勤め人は、仕事の關係上、まさか蓑きてもお役所へ出られません、草鞋穿いて銀行へゆくことも出來ません。姉さん冠りして女事務員となる譯にもゆきませぬ。體裁といふことをも考へねばなりませぬ。其だけお金が入るし、懷ろ合ひが苦しいのです。自分一人ならまだしも、子供の大勢ある家では、着物だけでも大ていではありませぬ。

粗末な着物して仕事が出來る人は仕合せです。

次は家族大勢してひとつ仕事の出來るといふことも農民の仕合せであります。それから職業を失ふことのないことも田舍の人の仕合せです。勤め人は職を引くと、財產のない人は困ります。老人になつて役をやめ、子供がまだ小いといふ人は、心配です。然るに土地をもつてゐる人は、安心です。土地は財產です金庫です。銀行です。皆樣は銀行の大株主です。

然し皆樣よ、勝つて兜の緒をしめよ、質素と勤勉とが皆樣を勝たせたことをお忘れなさるな。お金が出來たといつて、贅澤になり、よい着物を着、遊んでゐると、いつの間にかお金は消えてしまい、皆樣の身體は弱くなり、精神が衰へて來ますぞ。ある田舍を旅行した人は申しました、田舍に金齒のふえたことは非常なもので、娘なんぞすばらしい着物をこしらへてゐる、末が案じられると申しました。勝つて兜の緒をしめよ。皆樣も、油斷してはなりませぬ。差しあたり處女會と青年會とで申し合せてしつかりなさい。今が一番大事な時です。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



農村の婦人へ

中央部理事　山脇房子

□日本婦人の生活

私は幼い時は地方の士族の家で成長しましたし成人後は東京に出で時々旅行する外は、農村に接觸する折がなかつたので、眞に農村生活は知りません。然し今思出して一番印象強い一は、その頃農村から米、麥、野菜、卵、薪炭等を町へ賣に來るのには婦人の方が男子よりは多くそして士族の主婦達は家庭に於て味噌も醤油も手製し、糸も紡げば、機も織るといふ風に可成忙しい生活をしてるのを見て居た私が東京に來て都會に住む婦人方の多くがあまりに何もせずに其日／＼を空しく送つて居らるゝのとを比較して、實に驚いたことであります。

□我國婦人の覺悟

云ふ迄もなく、今度の歐洲戰爭は私共に多くの事柄を敎へました。そして私共が一番決心を要する點と思はれるのは、各國家が眞逆の場合には各自力を以つて自分の國を防衛しなければならぬと云ふ事と、今度の獨逸の樣に或る一の國が全く孤立せねばならぬ場合が無いとも限らず、白耳義塞爾亞の運命に自分達の國家が何時陷らぬと云ふ事も云はれぬと云ふ點であります今我國の有樣を顧れば、北には歐洲の戰場に、積年の目的を達し損ねた露西亞が何時出て來て、又極東に出口を求めぬとも限らず、又太平洋を隔てた米國が、突然に歐洲戰爭の影響を受けて、大變な海軍を建造し樣

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

として居ることも我國に取つて見逃しは出來ません。そして我國がそれに對抗して、各種の競爭を爲して行くには、如何しても、最少し國家の富を造へねばなりません。そして此場合男子丈でなく、是非とも婦人方も協力それを務めねばならぬは當然であります。

□尊い地方の女

我國では農村の婦人方と、都會下級の勞働婦人とが婦人の中では、眞に理想に近い生活をして居らるゝと考へます。農村の婦人方は、全く朝疾くから起きて、夫と一所に田にも出れば畑も耕し、牛も使へば野菜も作る、薪炭を得る事迄男子と仕事を分つと聞て居ます又都會でも、小商人の主婦は店に出て、夫と共に商賣もして居りますし、下級の婦人達は、夫と一所に車も引く、舟も漕ぐ又時としては同じ工場に出て賃錢を取つて、兎にも角にも、夫から養はれる許ではなく、所謂持合世帶を張つて居ります。所が中流以上の婦人方は如何かと申しますと、之れは又實に呑氣な生活です終日何を爲ると云ふ事もなく、たゞグヅ〳〵と雜務に追れて居るのであります、都會では生活向のものは全部便利な商人の手から買入れるので、地方の主婦と違つて、女中でも雇ふてあれば子女のあまり多くない人は夫の出勤後は殆ど爲る事はないと云つてよい位なのに、何をして居るのでせう別に勉强を爲るでもなく社會のために働くでもなく可惜貴重の時間を空しく費すといふことは實に生甲斐のない次第ではありませぬか何うかして今少し活氣ある生活をしたいものと思ひますそこにゆくと農村の婦人方が實際によく働いて居られる事は、女も働けばどんな仕事でも出來ると云ふ事を表してゐると、大變心丈夫に思ひます。

□農業は立派

日本では昔封建制度の頃、士、農、工、商などゝ云つた時代があつたので、近代になつても矢張り、官吏なら巡査でも好いが、百姓では厭だと云つた風な氣合を持つた人が澤山あります。これは誠に惡い因習を離

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

れ切らぬ考へ方で、實際は自分の土地を自分で耕して生活するのが、一番立派な生活と云つてもよいのです水戸光圀卿が、成功の後も尚藁人形を室内に据ゑておいて食事の時にはそれを作る百姓の勞苦を尊んで、禮をして喰べられたと云ふ事など、流石は經世の志を抱いてゐた大人物の、お考へになる事は凡庸を脫してゐると、感心して居ります。

□地方の女學生

目下の急務は、東京其他の都會のみを中心とした急速な文明の發達を、尤も健全な形で各地方に分布する事であると考へます。それには、如何しても敎育を受けた人々が、出來丈地方に散るが好いと思ふのでありますす手近い話が地方から上京して學校に入る人々は出來る丈卒業後は地方に歸り、受けた敎育を一番よい意味に使つて、地方の人々の敎育に從事するなり、その他の事に從事するなり、兎に角敎育の効果を實際に示すのが、尤も手近い。個人が社會に盡し得る方法だと思ひます。

又、こんな述懷もよく聞きます、地方の女は、心から東京に出たがる、どんな手段に訴へても出て見度いと願ふと云ふ事です。が實際向上心を持つてゐる人であれば、比較的各種の智識に觸れたり又得たりされる東京に出度いと思ふのは無理ではありません。又相當な地方の家では、娘は緣次第で何時どんな家の人となり、どんな夫と連れ添ふかも知れぬ故、東京に出して女學校でも卒業さして置くと云ふ家もありますが、これは出來る人ならば上京して、東京の各種の智識を得たり、生活を見て置くは好いと思ひます。けれども決して無理に東京に卒業後も止つて、所謂遊民となられぬ樣にと願つて居ります。何故と云へば、東京に近年非常に殖へた遊民と呼ばるゝ人々の中には、こんな徑路で爲つた人が多くあるからであります。

□此依賴心を

兎に角、我國での只今迄の女子の敎育はあまりよい

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

成績ではないかと思ひます。教育の方針が誤つたものか、又は他に何か社會組織に缺點があるのか、五十年近い教育の結果、も少しは婦人も自覺して、現在の自分達の狀態なり、社會の有樣なりを考へて見、世界に於ての日本の位置をも意識すべきであると思ひますのに、何時迄も徒食して、夫の手にのみ何も彼も賴つて呑氣で居るといふ此間違つた依賴心を、如何かして排斥せねばならぬことゝ考へます。

□一番望ましいこと

兎に角、文明の教育は遲くはあつても、今に農村の端に迄普及されませう、その場合に一番望ましい事は農村の婦人方が、勞働の尊い事を忘れずに、現在と同樣の覺悟でよく働くと云ふ精神を持つて居られたい事であります、でないと現在でさへ活氣の失はれて行と云はれる農村が益々衰へ、延いては都會の根を枯らすことゝなり、花許りの樣な都會は、間もなく萎縮するより外はないやうにならうと考へます。

◎稻葉默齋翁の農家今川狀

一鋤犁を執らずしては農家終に繁昌せざること
一無益に夜をふかして朝寢を樂しむべからざること
一百姓を輕んじて小作人を貪り榮花を極むべからざること
一先祖の遠忌の日は精進を專一にし、亂舞すまじきこと
一先祖父母の恩毎日忘るべからざること
一人道に外づれたる人の富を羨むべからざること
一家具衣裝分に過ぐまじきこと
一旦那寺を尊崇致し先祖の年忌法事厚くなすべきこと
一村内に於て規約を立て吉事凶事に深切を致すべきこと
一公用を厭ひ私用を專にし世間を憚からざる働きをすべからざること
一召使の働きぶりを知るべきこと
一農夫に對しては萬事不足なきこと
一酒宴諸勝負、物見三味線に長じ、家道を忘れ家法を破るべからざること

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

華族の「お孃さん」と田舎の「娘さん」

天野藤男

◎指環がチラ〱

二三年前面白いポンチ畫をみました。其はこうです。ある華族樣のお孃さんらしい立派ななりをした娘さんが夏の炎天に、汗をふき〱田舎みちを通つてゐましたが、ふと立留つて垣根越しに百姓家をのぞいてゐます。お孃さんの服裝はすばらしいもので縮緬づくめ、帶の間から金鎖がチラチラ光り、指環を二つもはめてゐます。暑いと見えて額から汗が泌み出てゐます。垣根越しにお孃さんのみつめてゐる家は、お百姓家の粗末な家で、庭は今打ち水したらしく、凉しい風が吹きよせてゐます。はねつるべのそばには葉げいとうがまつかに咲て、朝がほも見えます。そこへ奥からとんで來て、椽側に腰かけたのは其處の娘さんです。おいもじ一つのマツパダカで『あゝあつい』と椽側に足をブラブラさせて、澁團扇であふいでゐます。

◎双方羨み合ひ

お孃さんはヂッとその娘さんをみて、「あゝうらやましい、あんなにはだかになつて澁團扇使つて、椽側に腰かけてどんなに氣樂なことだらう、あゝうらやましい、せめて一生に一日でもよいからあ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

んなにしてみたい」
としみ〴〵思つてゐます。
すると娘さんは、ふと垣根の外にお孃さんの立留つてゐるのに氣がつきました。さうしてヂッとみつめてゐましたが、
「あゝうらやましい、なんといふきれいな着物でせうあの指環、あの洋傘を、いゝショールだこと、あゝうらやましい、せめて一生に一日でもよいからあんなりがしてみたい、お百姓の娘なんかつまらない」
と溜息をついてゐます
ポンチ畫はこういふ所をかいてありました。
皆さんは、之を何んと思ひますか、皆さんは兩方の身分になつて考へて下さい。お金持のお孃さんはお百姓の娘さんをうらやましがり、お百姓の娘さんはお金持のお娘さんをうらやましがつてゐます。どちらがほんさうでせう。

◎ほんとうの仕合せ

私は兩方ともほんたうと思ひます。然し皆様お金を使つてよいなりをしたお孃さんが、はだかの娘さんをうらやましがるといふことは、奇妙ではありませんかどうせうらやましがられるならば、はだかの方がもとでも入らず、得ではありませんか。
いくどもいふことですが我々はとかく自分の身の上ばかり卑下して、他人をうらやみたがるものです。是は田舎の娘さんなどに多くあることです。「商人の娘に生れて來たい、お金持の家に生れて來たならこんなに苦勞もしまい、華族様はどんなに仕合せだらう」なんぞと我が身をはかなく思ふ人があるかもしれませぬが、是は愚かな考へであります、幸不幸は心の中にあります。よい着物、よい住居、よい食物はうはべの仕合せ、ほんたうの仕合せは氣樂な暮らしです。

事足れば足るに任せて事足らず
足らで事足る身こそ安けれ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

親孝行のお手本

石川梅巖

一 常に顔つきをにこ〳〵として、きげんよくする事

一 己が家業を大切にせい出して勤むる事

一 あしき友達をこしらへぬ事

一 諸人を愛し敬ひ、あはれみふかく、かりそめ人とあらそはず、口論せぬこと

一 相場事せぬこと

一 家内仲よくする事

一 父母の仰に少しも背かぬ事、養父母を諫むるといふことは常には大かたいらぬ事

一 常に外に出づる時は、必らずゆく先を兩親にいひ置き、ゆく先のちがはぬやうにする事、又歸りたる時は、只今歸り候といひて、兩親のお顔をも見、此方の顔をもみせて、互に安堵すること

一 正しからぬことに一錢にても錢つかはぬ事、金は親のものなる故みだりに使ふことはぬすみ同前に當りて、めうがあしとしるべき

通俗電氣の心得

岡部榮信作

一ツトヤ ひと夜明ければお正月〳〵
あかるい電氣でうれしいな〳〵

二ツトヤ 不思議に電氣は便利だが〳〵
危險もあるから注意せよ〳〵

三ツトヤ みなさん頼むが電燈の〳〵
裝置をみだりにいぢるな よ〳〵

四ツトヤ よろしくないのは電球や〳〵
紐など無斷で換へること〳〵

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

事

一　身の養生をよくし、大食大酒せず、灸など少しづゝにても、毎月すへる事

一、朝は早く起きて父母のきげんをうかゞひ、夜はおそく寢て父母の寢給ふ時、また寒暑をうかゞひ、御背にてもさすり、御足にてもなでさすりする事

一　父母より讓り受けし物は衣服諸道具にても損せぬやうにし、いただき用ゆる事

一　父母窮屈に思ひ給はぬほどをよく考へて、出入にも拜して出入し心一ぱい敬ふべき事、下は子の身が敬はねば、外に敬ふ人なしとしるべき事、敬といふ基は御心に背かぬにある事

一　衣服食物にても、心一ぱい父母の御好みの物、着してよく、食しやすきものを求めて進ずる事、是は人々身上の上下あれば、身分不相應の奢は不孝に成也。奢にならずして、身上相應に出來る事をせぬも、又不孝なり

一　見物、參詣等も、右同樣なり、自分手すきある身ならば、同伴して參る、坂などは腰を押し、手など取りて怪我し給はぬやうにし樂々とあるき給ふ樣にと氣づくべき事

五ツトヤ　異狀があるなさ認めたら〱　すぐ樣會社に知らせてよ〱

六ツトヤ　無理に手荒にあつかうな〱　ぬれ手さ金物禁物よ〱

七ツトヤ　名入の球ならよいけれど〱　ほかから仕入れてつけぬこさ〱

八ツトヤ　やたらにいぢると大變よ〱　感電漏電火が出ます〱

九ツトヤ　子供のおもちやにさせぬこと〱　電氣のそばにはよせぬこさ〱

十トヤ　德用品ゆへ電燈は〱　だいじになさいよたのみます〱

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

お金のなる木

岡部榮信君作

お金のなる木は朝を木、正じ木、程よ木、それからなさけのふか木や、油斷のない木や、費えのない木や、いさぎのよい木や、辛棒つよ木や、家內の仲よ木、これ等は三つ兒も知つてる名代の寶木。これから私の新規に選んだお金のなる木を、こゝらに入れるに、第一りち木や、言葉のすくな木、機嫌のよろし木、覺えのよ木から、親し木、かせ木や、信念のな木から評判よろし木、げん木は青年諸君に必要、時間を守る木、約束かた木や、規律のよい木は、成功する木ぢや、まだ〳〵御金のなる木はあるべし。然るに近來お金のならぬ木、澤山繁殖、お金のなる木の御邪魔になるのは心外千萬、お金のならぬ木、炭にも燒けぬし、薪にもならぬ木、始末にならぬ木、これではならの木、なんぞか少々實用向なり。

餘談はさておき、お金のならぬ木、始末にならぬ木、これからそろ〳〵お覽に入れます。のん木に短木に、さもし木、いやし木、ごまつ木、やまつ木、ひまか木、ほらふ木、うそつ木、りん木、かけひ木、あいび木、あとひ木なんぞは厄介千萬。お茶ひきなんぞは不景氣千萬。强慾ふか木は、はじか木だらうし、澁か木、しぶいし、せん木は痛むし、出す木にや困るし、うるさ木、ものには金棒ひ木あり、信用ない木は御腹の黑木ぢや。此等は卽ちお金のならぬ木、のつぴきならない場合ば兎に角お庭に植ゑても花實は結ばぬ、さうともさうとも。私はなんだか若木の至りで、なまい木申して相すみませぬが、アンマリ長いと龍頭蛇尾ぢやと笑はれませうしお茶ひきなんぞと惡口叩いた次第もあるから、用心しますが、費えのない木と養生よい木と、神佛をがむ木、だいじの木ぢやから本氣でのべます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女家を興す

山崎延吉

山口縣吉敷郡宮野村に石川某といふ本年十四歲の少女がある。家は甚だ貧しく、父は醬油釀造場の仕込人に雇はれ、母は僅かばかりの田畠を耕して其の日其の日の細い煙を立てて居る。

山口縣の吉敷郡の宮野村(山口町から一里ばかりのよい村です)に石川某といふことし十四歲の少女が居ります。家は大いさう貧しく、父は醬油をこしらへる家の仕込人に雇はれ、母は少しばかりの田や畠を耕作して其の日其の日の貧しい暮らしをして居ります。

某女は尋常小學を卒業すると同時に學校をやめ、何くれとなく母の手傳をして居た。かれは子供心にも何とかして家を興したいものだと、明暮小さい胸を痛めて居つた。

娘は尋常小學校を卒業しますと同時に學校をやめまして、いろ〳〵と母の手傳をしてゐましたが、娘は子供心にも、何とかしてわが家を富まし、くらしが樂になるやうにしたいものだと、明けても暮れても、小さい胸を痛めて居りました。

然るに豫ねて同村に奬勵されつゝあつた畜牛事業が近來益々盛になつて、尠からぬ利益を得たものがあるとの話を聞いたので、一家の生計を助けたいと思つて、此の事を父に願つた。素より牛を購ふ程の餘財もないので、父も一旦は之を斥けたが、娘の非常な熱心に次第に動かされて到頭その旨を雇主

釀造場　酒や醬油などをつくるところ

細い煙　貧しいくらしといふこと。竈の煙が細ければ其だけたべるものもないからです

明暮　あけてもくれても。つまり朝晩といふこと

奬勵　すゝめはげます

畜牛　牛を飼ふこと

生計　くらし

餘財　よぶんのざいさんお金

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

資本　もとで

に告げ、漸く八圓の資本を借り出して、一匹の牛を買入れ「これから後は自分で能くその世話をせよ」と云つた。某女に之を與へたのは大正四年の春であつた。

所が前から宮野村ですゝめられて居つた牛を飼ふ仕事が近ごろだん〳〵盛んになつて澤山のもうけをした人があると聞いたので、どうかして自分も牛を飼つて、もうけて家のくらしを助けたいと思つてこの事を父に願ひましたが、牛を買ふよぶんのお金がないので、父はそれどころではないといつて聞いてくれません。然しあまり娘が熱心にいふものですからその熱心に心を動かされて、とう〳〵そのことを雇主に話して、やつとのことで八圓のもとでを借り出して一疋の牛を買ひ入れ、娘に「これから後は、自分で能くその世話をするのだよ」と父から牛を渡されたのは大正四年の春でございました。

爾來　それから
純益　ほんとうのもうけ
飼育　かひそだてる
開設　ひらきもうける
愧死　はぢて死ぬこと

爾來彼は一切人手を借らず自分のかよわい腕一つで之を育て、さて値段のよい頃を見計つて之を賣り、更に見込のある仔牛を購ひ、斯様にして既に數頭を手に掛けた。或時は十五圓で求めたものが翌月三十五圓に賣れたので、一箇月間に二十圓の純益を得たこともある。斯して利に利を加へて、大正六年に至り總益金百六十五圓を得たので、僅かではあるが家宅や畑地も買入れかつ二頭の種牛を飼育し、同年開設の同村畜牛品評會には父の名義で之を出品した處、二等と四等との賞を授けられた。是がやう〳〵十四歳の少女の小腕一つの働きであるとは、五尺の男子も當に愧死すべき美談である。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

それから娘は一切人手を借らずに自分の弱い腕一つで牛を育て、ねだんのよい頃を見計つて人に賣り、改めて見込のある仔牛を買ひ、かようにして二三頭を手にかけました。或時は十五圓で買つたものが翌くる月には三十五圓に賣れたことがありましたので、一ケ月に二十圓のほんとうのもうけをしたのです。こうしてだん／＼もうけが重つて大正六年になつて、そうたいのもうけが百六十五圓になつたので、少しではあるが、家屋敷や畑を買ひ入れ、その上に二頭の種牛を飼ひ育て、その年開かれた村の畜牛品評會に、父の名前で出したところ、二等と四等に當り賞品をもらひました。是がやう／＼十四歳の小娘の小腕一つの働きであるとは何んと感心ではありませぬか。何も働きのない五尺の大男はこの小娘のことを考へるとはづかしくて死なねばなりません位です。ほんとうによいお話です。

行爲　おこなひ
醉生夢死　たわいなく酒に醉ふたような心持

髪の結び樣や、着物の柄選みに目も心もくらむのが、今の世の多くの女子の常であるのに、さてもこれは珍らしくも亦貴い行爲ではないか。思へば道を聞いても父母を安んずることをせず、學を修めても産を興すことも出來ず年は長けても家を成すの工夫もなし得ないで、醉生夢死の間に日を送つて居るやうな青年は、此の少女に對しても大に奮勵すべきである。

髪のゆひやうや、着物の柄えらびに目も心くらむのが、今日此頃の多くの娘の常であるのに、さてもこれは珍しらくも亦たふとい行ひではありませぬか。よく考へてみまするど、世間には、人の人たる道を聞いても、父や母を安心させることをせず學問をさせてもらつてもお金とりも出來ず、年は老つても一家を成す工夫もしないで、酒飲みが酒を飲んで醉つて寢てしまふやうな夢のやうなつまらぬ年月を送つてゐる青年は、この娘に對してもはづかしいといふ心を起し奮發心を以て働かねばなりませぬ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

妻を亡くした私の經驗

佐藤博圃

◇風に倒れた松の樹でさへ◇

風に倒れた松の樹を――よしそれが枯れかかつて居たにせよ――それを見るさへ哀れを感じるは人情です況して人の死ほど心を痛ましめるものはありません。お懐かしき生みの親や、いとしき我が子の死が、とりわけどんなに人の胸を裂くでせう。

私は、幸に兩親も健全でございます。子供も亡くしたことはございません、けれども私は、三年の月日を偕に暮した最愛の妻と死別れた經驗があるのでございます。

◇長女を背負つたまゝお産◇

その頃の私は、東北のさる田舍町に住んで居りました。或る夜の二時頃です。まだと思つたお産が、俄かに催ふしてまゐりました、しかもその日は、お産の手傳ひにと二週間ばかり前から來て居て下すつた妻の祖母が、餘りお産か催ふしないと云つて一寸そこから三里ばかりある村に歸つたのでございました。

で、家は妻と私と長女と三人だけでございました。妻は、かねて準備はして居たやうなもの、夜中でもあり、祖母が歸つたあとでもあり、それに二才になる長女が、その夜に限つて、非常に泣きだしましたので少

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

なからず、慌てました、それに、かういふ場合に餘り心得のない私は、たゞ、もぢもぢして、家の中を行つたり來たりする外、どうせうことも出來なかつたのでございます。

三時過ぎ、とうたう妻は、長女を背負つたまゝ子供を産んでしまひました。

想像てごらん。時は眞夜中です、向ふの家のお神さんを呼び起して産婆を迎へに行つて貰ひましだが、仲々まゐりません。そして産褥の用意もまだ十分に出來ない間に、出産してしまつたのです、私が、産婆を待ちかねて三度目に、表に出て、家に入つて見ると、妻は泣き叫ぶ長女を背にしたまゝ、今生れたばかりの産兒の上に俯伏して居るのでございました。私は全く慄ひあがつてしまひました。

◇喜びから恐しき悲しみへ◇

けれども、四日ばかりは産後の肥立が至極よろしうございました、嬰兒も健やかに育つて行くやうでございました。村からは妻の家からも私の實家からも皆んなやつてまゐりまして安産であつたことを喜んで下さいました。そして私共にはもう何も心配することはない。之から善く肥立つやうにと願望ばかりでございました。

所が、恰度五日目の日でございます。急に産婦が發熱して參りました。そしてその夜の十二時頃になると熱が三十九度ばかりに上つてしまつたのでございますそのときも私は慄然いたしまして、早速、醫者を呼んで診て貰ひました。そしてそれが産褥熱であるといふことが分つたのでございます。

その後の二十幾日のことは申上げますまい。私にとつては、餘りに悲しい思出なのですから、そして、それもいつかは、——これから、もつと時經つて心靜かに遠い過去の思出として物語る折りもあらうことゝ思ひますから。たゞこゝに、皆さんに御記憶の願ひたうございますのは、とうたう妻は産後二十六日目に此の世の人ではなくなつてしまつたこと、それから、妻

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

の死因のこと——二人の子供のことはいつか申上げます——とでございます。

◇産褥熱！昔の産婆！◇

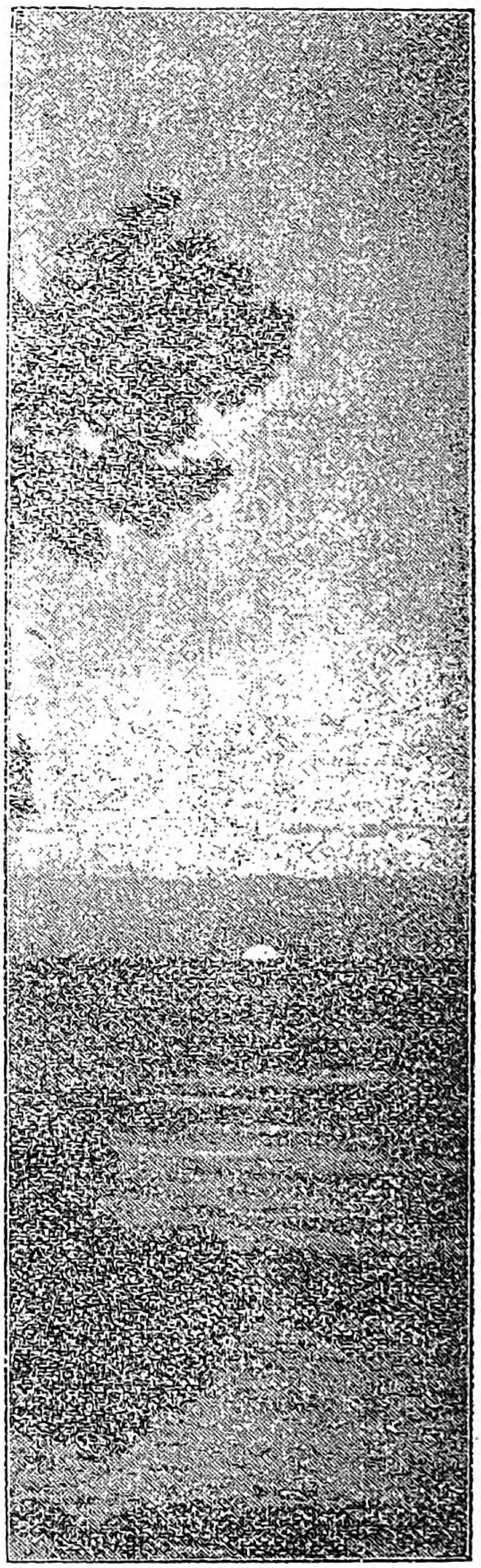
妻は、無論、姙娠のために著しく疲れてゐました。けれども、産褥熱といふ病氣は、全く産後の消毒の不完全から來るのでございます。此のことは醫學上少しの疑もないのでございます。

産褥熱といふ病氣は俗に裾風と申して、よく産婦が冒されやすい病氣でございます。そしてそれは、産婦の不注意から、産婆の消毒の不完全から來る病氣なのでございます。

私の家で頼んだ産婆は、所謂、昔の産婆で、消毒などいふことは少しの心得もないのでございました。かういふ産婆を頼んだといふことは、勿體、私共の不注意でございました。ですから、妻は自分の不注意から自分を殺し、私は又私の不注意から最愛の妻を殺してしまつたのだと思つて居るのでございます。そして私は、これを思ふにつけ、それを思ふたびに、皆さんが我が身の健康を保つために、お産の際は、すべてに、よく御注意を遊ばすと共に、殊に産婆は、事情の許す限り、新しい教育を受けた方を頼むやうにし、若し、地方にさういふ産婆のない、場合は、自ら産前、産後の消毒といふことに注意して、疾病を防ぐやうに遊ばすやう私は希望して止まないのでございます。

國の統計で調べて見ますると新しい教育を受けた産婆の數の少い縣は産婦の死亡も多く、殊に、死んで生れたり、又は生れて間もなくその子供が死んでしまふといふ數が、非常に多いのでございます。産婦の死は固より恐ろしいのでございますが、九ケ月も十ケ月も腹を痛めて、漸く産んだと思つた可愛赤兒を殺してしまふといふことは實に情ない、そしてそれが、産婆のよしあしに非常に關係して居るといふことが、疑ふことの出來ないことなのですから、これからおつかさんになられる皆さんは、くれぐれ注意なされねばなりません。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN


海岸の日の出

處女と一日一善

山本瀧之助

□小善積れば大德

『一日一善』とは皆樣の御承知の通り一日に少くとも一つ宛善ひ事を爲ようと心懸けることで、其の善い事といふも、元より大した事をいふではない。或は路傍の石塊を退けるとか、或は阪路で荷車の後押しをするとかいふやうな、最も手近な最も手易な事柄に就いて直に手を着けるといふに外ならぬ。此の『一日一善』といふことは、其の初め英國紳士の間に行はれ次いで同國少年義勇團の主なる掟となつて此の二三年來義勇團に伴はれて我邦にも傳はつたものであるが、我邦でも、今より百三十年前安永年中に出版された『和字功過自知錄』といふ書物の中に、明かに『一日一善』の成語が見えてゐる。又中井竹山先生の言葉に

今日一善を行ひ明日一善を行ふ、積れば大德と成可

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

申、不可怠候』とある。又江聖人の教には

『吾人徳を修むることを思はゞ日々に善をせんのみ、一善益すときは一惡損す、日々に善をなさば日々に惡退くべし、是れ陽生ずるときは陰消ずるの理なり久しく怠らずんば善人とならざらんや』

とある。瀧鶴臺の妻が糸卷を卷いて座右の銘としたといふも全く『一日一善』の心懸けに外ならぬ。

斯樣に『一日一善』の教は其の由來する所が古く遠いけれども、世を擧つて徒らに高尙な理屈にのみ陷れる時代にあつては、斯る一見些末な事の如きものは世の人の耳に入るべくもない『功過自知錄』などの古本が反古屋の手から免れてゐたことの寧ろ不思議な位である。昔白樂天は杭洲の太守となつて遙に時の大德道林禪師を訪ねて佛敎の極意を問ふた。スルト禪師は『諸惡莫作衆善奉行』と示され、重ねて、これ三歲の童兒も知れることなれど、八十の老翁も中々容易に行ふ能はざるなり云々と說かれた、惡をすな善をせよ、これ啻に佛敎の極意のみでない、諸敎の敎も畢竟こゝを出ぬ、最早今日では誰れも善の爲すべき事、惡の爲す可からざることは、恐らく既に知り飽きてゐる、唯如何にして善を爲すべきかに就いて、着手の動機を與へ着手の個所を示すのが急務なのである。

左に少許一善日記を揭げて見よう。

□日記のつけ方

一ミチノ石ヲステマシタ。

一ホトケサンノオ花ヲタテカヘマシタ。

一犬ノアタマヲナデテヤリマシタ。(小學生徒)

一後の細道にさし出てゐた木の枝を下げた。

一蓄音機を吹かした、見れば右側の方に老人衆がゐられたので、喇叭の口を少し其の方に向けた。(靑年會員)

一牛にやるザブをいつもより細く切つてやりました

一風呂のふたを取つて見ましたら、中に小さい蟲がゐましたから、靜かにとらへて出してやりました

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

一晩方にお父さんが遠方から歸られるので、いつもよりはランプを一つよけいにともして内をにぎやかさうにして置きました。(處女會員)

一廊下に釘が出てゐたから金槌で打ち込みながら、「お前がアタマを出すから撲たれるのですよ。」

一便所の隅の蜘蛛の巣を除く。

一弟が餘り永く寢てゐましたから『一善』といひさま蒲團を剝いでやりました。(伊豫松山高等女學校生徒)

一七十五六歳位の老婆家に來りて卵を賣る、あまり暑ければ後よりソットあふひであげる。

一毎日下婢にのみ重き方の桑籠を背負はせたれば今日は代りて自ら背負ふ。

一河邊の洗濯場で他のお方に洗場をゆづる。(宮城縣女子師範學校生徒)

一肺病の學友を慰めんが爲めに手紙を書く。

一友達の荷物を驛まで擔いで行つた。

一小學校の生徒が鐵道線路を通つてゐたのを說諭した。(岡山縣關西中學生徒)

一十一時半頃自分達の列車は京都を通過す、自分の傍に睡むれる四歳程の小兒の顏に熟せる茱萸の如きもの五つ六つを見る、よく見れば愛らしき此の小兒の溫き血を吸ふて醉へる蚊なり、彼が母はうたゝねに白帆漕ぎて知らず爲に余之を逐ふ。

一午前二時此の列車は大垣に停車す、先の小兒も母の脊に負はれて下車す、其の婦人の荷物あまりに多かりしかば、余はプラットホームにその大半を出しやれり。

一物詣ですると覺ぼしき老嫗に道を尋ねられ最も親切叮嚀に說明す。(廣島高等師範生徒)

一本日午前器械體操場に於て長き竹を上に揚げ置きたり。

一便所の戶を締め置きたり。

一洗濯物の落ち居たるを上に掛け置きたり。(姫路步兵第三十九聯隊第一中隊兵士)

一老人に手を添へて乘せて上げたり。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

一待合所に倒れてゐたりし傘を起し置きたり。
一車掌に茶を供したり。(山陽線松永驛員)
一人家の門前に犬が大便をしようとしてゐたのを追ひ拂つた。
一車夫が前挽の犬をイヂメてゐたのであまりイヂメルなと注意を加へた。
一出獄者の出迎に行つた。(廣島縣三原警察署員)
一金を落して捜してゐる人に角燈を見せたり。
一獨身者の病氣にかゝれるを近所の家に報じ置けり
一配達先にて郵便受に葉書の入れありしに氣付かざりし樣子なりし故注意し置けり。(島根縣松江郵便局集配人)
一宿直、湯から上つて老人の小使に汲みたる水は使はず、自分で井戸へ行つて使つた。
一給仕に履物は揃へて脱ぐべきを注意した。
一枕下にマッチを置いて、何時もは點けて寢るランプを消して寢た。(徳島縣高志村役場員)

『一日一善』には少しも理窟がない、最も簡單明瞭であつて、大人も小兒も皆一樣に行ひ得られる。

□貝原益軒の一日一善

益軒先生の大和俗訓に『人のために益ある善事を毎日多く行ふべし。其善事とは、富貴なる人は、人に施し救ふこと自由にしてひろく行ひやすし。心にかけて行はゞ、其功大に其樂も亦大なるべし、貧賤なる者も志だにあれば所にしたがひ、時にしたがひて、人の利益となること多し、わが家の內または、外なる道にて人の往來に、足にさわりとなるものあれば、これをのけて他所へうつし、のんどかはく人には、一盃の水をあたへ、つかれたる者に、一椀の食をあたふる、かやうのたぐひ、少なることながら、人の益になること、きはまりなし。上は王公より、下は庶人乞丐にいたるまで、皆行ふべし、年久しく積行はゞ、其善大にしてきはまりなかるべし。常に善を行ふを以て、樂とすべし。』とあります。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

活きた學問

＝新聞からみた浮世の教＝

―田舎の方は尚更御用心―

(一)迷ふてはならぬ

七月十一日の「萬朝報」に下の様な記事がのつてゐましたからごらんになつた方もあるかもしれませぬが、なんと恐ろしいことではありませぬか。全體迷信といふのは無智な人の陷り易い一種の病氣であるのです。自分にちやんとした考へがあり、定つた方針があるならば、こんなことは出來ぬ筈です。所が自分の心がよ

> **○恐しい迷信**
> ―神託なりとて四歳の子を軌道へ投げ―
> **◇電車で殺す**
> 第一艦隊所屬軍艦伊勢乘組海軍一等兵曹畑中久次妻お貞(三三)は呉市今西町に居住し昨年神經痛に罹りてより天理教を信じ、全快せりとて迷信に陷り神樣が長男を殺せば自分の病氣を治してやると宣言せりとて十日午前六時頃呉郵便局前にて進行の電車を目がけ、長男廣(四ツ)を軌道內に投込み轢殺せしめ呉署に引致さる。

くきまらぬ、迷ひ始める、さういふ時に他人からいろ〳〵のことをいはれると、ツイ信ずる。人のいふことを信じるのはよいが、このことが文明の世の中の正しい理法であるか、人道に叶つてゐるか、醫術に叶つてゐるか、衞生に叶つてゐるかといふことをよく考へ、自分で判斷のつかぬ場合には、大勢の先生方によく相談して事をきめねばなりません。天理教の功德はよく知

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

りませぬが、随分信者もあると申しますからよく利くでせう。然し長男を殺せば病氣がなほるとは何事です又其を信ずる細君の氣が知れませぬ。たしかに氣狂ひです。神樣は人を助けるものです、罪のない子供を殺すものではありません。

(二)娘をいぶし殺す

右の話は極端のことですが、もつとさゝいなことで、田舍に行はれてゐる迷信の類ひは少くありませぬ。皆樣はもう大正の處女ですそんなわけのわからぬ人があつたらば、道理を説いて敎へてやつて下さい。

私共の小さな時手足などに傷をつけますと、子守がすぐ「たもとつくそ」をつけてくれました。今考へるとゾツと致します。それからお宮の手洗水をのむと病氣がなほるとか、川の中の何んとかいふ蟲をなまで食べるとよく水が泳げるようになるとか、とりとめもないことを申し其が實行されてゐる地方があります恐ろしいことです。呪ひとか、お告げとか、占ひなども深く信ずるものでありません。

東京名物川開き

二三年前に、中國邊で年頃の娘に狐がついたといつて、石炭箱につめこみ外から火をたきつけ、狐を追ひ出すといつて燥ぎ、とう／＼娘を殺してしまつた親爺さんがあります。狐がつくとは何事ですか。あれはヒステリーの一種で立派な病氣です。

地面の中でなまづがはねるので地震が入る、かみなりさんは毛物が太皷をたゝいて飛び廻るのだといふ昔ならばいざしらず大正の日本に新らしい敎育を受けた人は今少しく悧口

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

になり發明にならねばなりません。

(三)割のよ過ぎる仕事は危險

七月十三日の東京の各新聞に下の樣な記事がありました皆樣の中にはかうした災難にかゝつた方はないでせうが、今まではこういふ詐欺的の廣告を出して正直な地方の人の苦しめられた實例は非常に多いのですから御注意致します。是は迷信と違つて、皆樣がわるいのではなく、かういふウソな廣告を出して、地方の人をあざむくものがわるいことは申すまでもありませぬ。

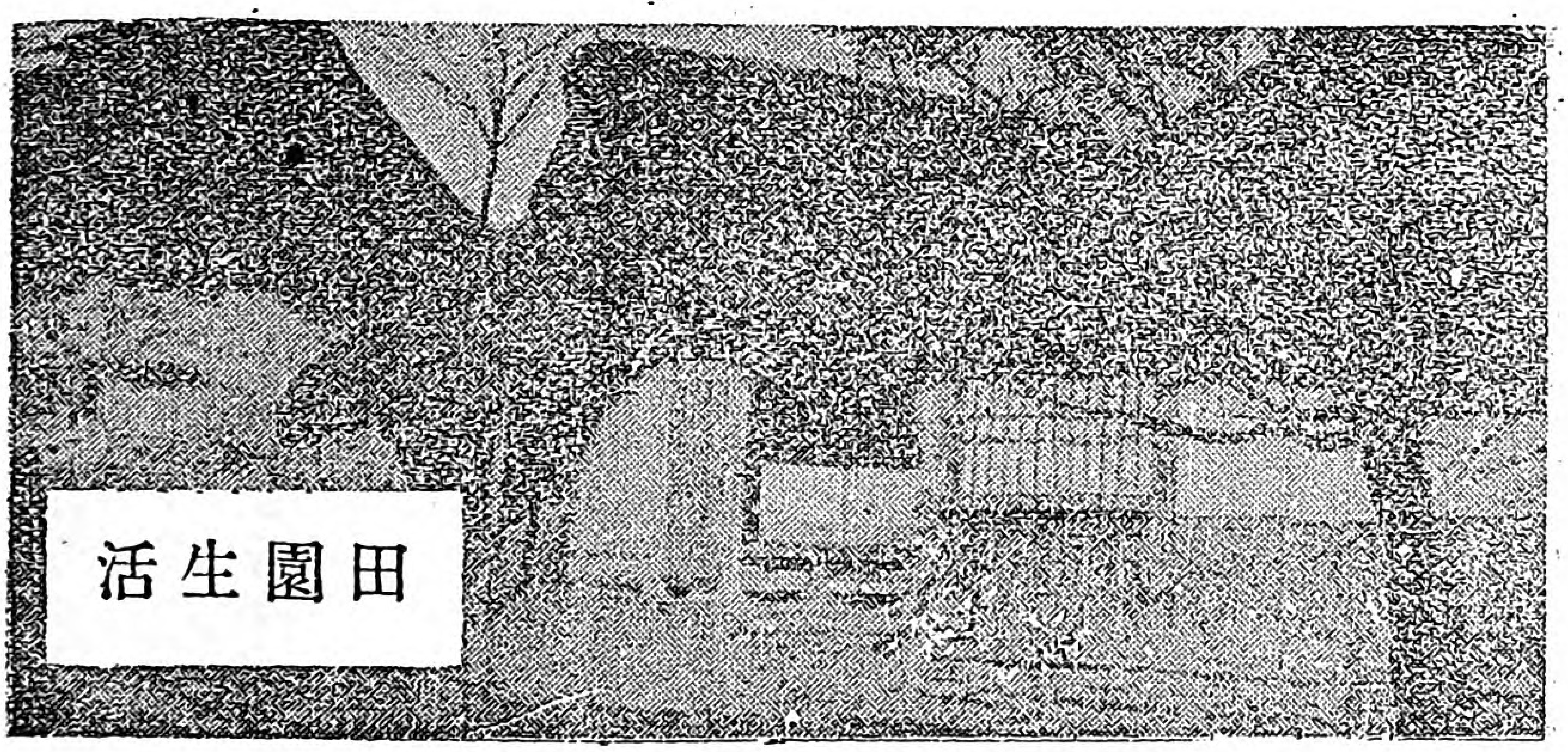
○廿萬圓

廣告利用の詐欺

本郷區湯島四の二一松本英五郎(四八)同區駒込蓬萊町二五横川善一(三六)麴町區下六番町六前科二犯上田吾一(三八)府下西巣鴨一九八二前科七犯大竹小太郎(四七)は、何れも大正三年以來、新聞廣告利用の詐欺を企て、松本は本郷區湯島切通し二四八雲商會、大竹は淺草區北松山町一二、日出商會、上田は本所區龜澤町二の一二上田商會、横川は麴町區飯田町三の一八横川商會の看板を掲げ、內職材料一圓七十錢位のものを七八圓に賣り付け今日迄の其の材料賣上高二十萬圓以上に上り、被害者は山梨縣田府市錦町一八稻葉誠三郎外五千三百餘名に及べるを本富士署にて探知し、彼等を取調中。

然し前號にも少しかきましたが、地方の人にも少し落ち度はあるのです。この世智辛い世の中に、どうして自宅で內職しながら樂に二圓も三圓も儲かる仕事がありませうぞ。その位のことは、見拔いて置かねばならぬ筈です。つまり儲けたいと思ふ人の心につけこんで、うまいことを言ひふらし地方人を誘惑するのです東京の人はもうだまされ馴れてゐるから、なか／＼信じません。田舍の人は正直ですからすぐ信じます。惡い人に對しては不正直の人になつて下さい。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



ゆかしき野唄

○

鳥も通はぬ山なれども
住めば都よわが里よ

（解）ありふれた歌ですが味つてみると面白い。然し鳥も通はぬ八丈島といふことがあるが、鳥の通はぬ山はない、山だからこそ鳥が來る、來て啼く東京ではせい〳〵と雀も聞かれませぬ。うぐひすの聲を知らぬお孃さんもありませう。鳥は電車と直すと面白い。交通不便で電車も通はず、馬車も通らぬが、住めば都だ、日本國中どこよりもよい、お米がとれるので氣がゆつたりしてゐる。薪があるので人情が溫い。小さけれども家もある。狹いけれども庭もある、サッサ皆さん次の歌を歌ひませう。

井戸の蛙とそしらばそしれ
花もちり込む月もさす

田舍ものと馬鹿にするなら勝手にしなされ、ものを知らんはもち前だ。然

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

し町のお方、こうしたあばらやでも、わしが家ですぞ。春になると門前の櫻が咲きみだれて、春風がふくとチラ〳〵ざしきの中に散り込むし、秋になるとお月さまが椽側から座敷の中から佛壇までも照らすわい。庭は狹いが天地は廣い。あばら家にもよい月の光りがさす。破れ障子からでも廣い世界は見える心のもちやう、氣のもちやう。何はなくとも結局氣樂ぢや。『おゝえい月ぢや、お盆には踊るべいか、お濱もう一本つけてくれ』

○

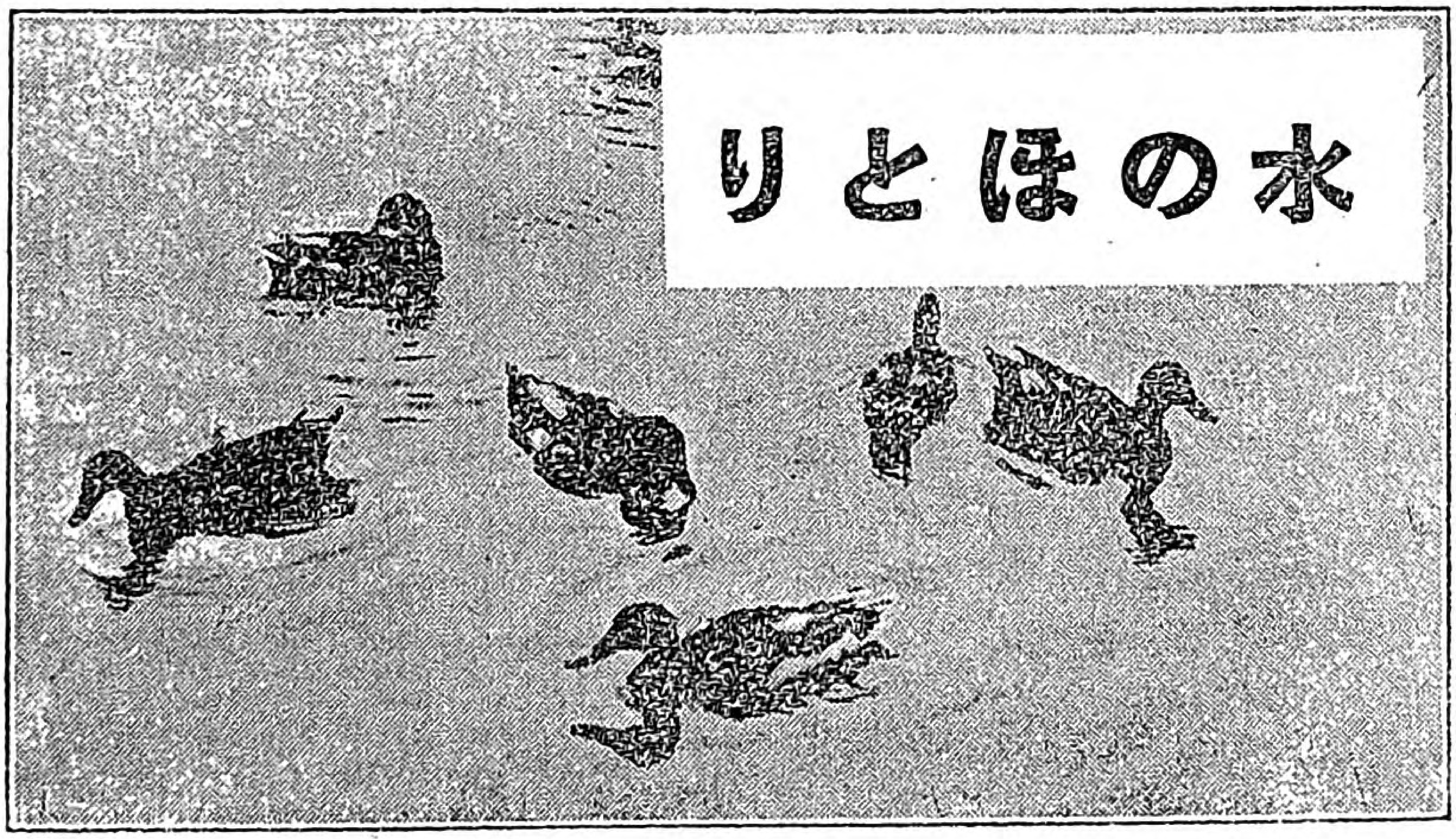
夫耕やす娘は稼ぐ
　妻は瀬戸へ出て米炊く

意味は歌の通り、夫婦各々其の分に從つて仕事をしてゐる、共稼ぎです。然し家を中心としてあまり遠くへは出ない。夫は畑の耕作、細君は流し元で米炊ぎ、娘は機を織つてゐます。仕事は變れども、心は一つ家の爲め、東京には家業といふものは少い、夫の仕事と娘の仕事とは別々が多い、田舍の共稼は自然的だ。

よくお百姓のことを、朝は星をいたゞき、夕は入相の鐘に送られて家に歸るといつて、ほめるのならよいが、勞働の激しいたとへに引くが、此の節の東京の勤め人や勞働者をごらんなさい、朝の三時四時から起きて工場に通ひ、夜は入相の鐘どころか九時十時に歸るが多い、「ひどいのになると夜中仕事をする。工場の笛を聞いて工場にゆくがよいか、朝風に鬢の毛をふかれ、朝つゆを爪先にくだいて、夫婦語らひながら山にゆくがたのしいか。八時間勞働とかいつてさわいてゐるが、お百姓は氣まゝ氣ずひ、早く終へれば早く歸るし、手間をされば、『一枚は月夜になりて田植かな。』

是からは田舍の天地、田舍の勝利です。今に町の人が田舍にあこがれ青いものを慕つて田や原にまゐりますよ。簑を着たお百姓の姿がハイカラとなつて來ますよ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



營養と食物の話（つゞき）

内務省編

勿論戰時其の他危急の場合に於ける榮養の節約狀態を、直ちに平時に推し及ぼすことは、如何に夫れが經濟上有利であるからと云つて、當を得たる者とは考へられませんが。併し家を思ひ國を愛する人々は、學問上より指し示された、榮養上の智識に信賴して、平素と雖も榮養を成るべく上手に行つて、無用なる濫費を愼むと共に、一朝事ある時は、安んじて食糧の節約をする樣に心懸けて居なければなりません。中等の勞働者が此位迄は節約しても大丈夫と思はるゝ分量は體重一貫目に就き蛋白質を一匁二分の割合に取り、又溫量は體重一貫につき百四十カロリーと見積つた者であら

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

素・脂肪を加へて總カロリーを約一千八百五十位にすればよいのであります。

うと思ひます。卽ち體重十三貫目の人ならば、蛋白質は十五匁(約七十五匁の生肉に當る)で、之れに含水炭

第三節 安く甘く養になる食物は何か

平素から榮養上の智識を養ふて置き、日々の生活に之を應用すると、大層冗費を省くことが出來るものであります。又價の高い食物で無いと榮養にならぬと思ふのは、大なる間違であります。此等のことを能く心得た人には、安くて美味しく、且榮養になる食物が容易く得られるのであります。

元來食物の市價は、必ずしも其榮養上の價値の多少と比例するもので無いことは、少し氣を附けると誰にでも能く分かることであります。それと同時に又、如何に安く安くと食費を省くことにのみ苦心しても、その食物の榮養の點に於て、少しでも手落があつてはならぬことは、言ふまでも無いのであります。

如何にすれば安くて美味しく、榮養になる食物を攝ることが出來るかといふに、それは次に述べる經濟的榮養法十則を心得て置くことであります。

第一、材料の選び方に注意せねばなりませぬ。このことは後で詳しく説明を試みることにします。

第二、美味しく食べる工夫が肝要であります。調理法や配合の如何によつて榮養上にも著しい差異が生ずるのであります

第三、勝手元で廢物を出さぬ樣に心懸けねばなりませぬ。魚の頭でも、野菜の皮でも、それ〳〵貴重の成分を含み、立派に役に立てることが、出來るものであります。又今迄は世間に廢物として取扱はれて來た血液、豆粕、醬油粕、糠の如きも、之を巧みに利用して、實益を納むることに努めねばなりませぬ。

第四、咀嚼を充分にして、消化を安全にすることに注意せねばなりませぬ。消化が充分でなければ食物中

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

の榮養分が充分に用立つ理には參りませぬ。而して消化を完全ならしむる有効なる第一の法は咀嚼を丁寧にすることであります。同じ大豆でも其中に含まるる蛋白質が、煮豆では百分中の六十三分しか消化吸收されぬに、黄大豆粉では百分中の九十三分も消化吸收されるのを見ても分るのであります。

第五、嗜好は可成廣く、食物は可成偏せざる樣にせねばなりませぬ。生理上からも經濟上からもそれが最も賢明であります。

第六、購買方に心を用ひねばなりませぬ。公設市場設立の必要も、購買組合組織の改善も、又時ならぬはしり物を購ふことを避けて總て季節のものを用ふる心懸けが必要であるのも、皆此同じ理由から出發するのであります。

第七、食物の貯藏法を心得ねばなりませぬ。貯藏法には日干し、鹽漬、砂糖漬、煮沸、燒熱、燻製、罐詰冷藏など種々有りますがすべての物の腐敗する原因は腐敗黴菌でありますから、腐敗黴菌を殺し或は其繁殖を止める方法を施すのであります。

第八、一切の虚榮心を取去ることが大切であります。世間體や外觀を主にして食物を撰ることは愚かなことであります。外國米を買ふのを遠慮したり、後悔する程高い代を拂ふて驕りの食物を購ふことは禁物であります。

第九、粗末萬能主義も、美食萬能主義も、孰れも良くありませぬ。

第十、飽食せずとも良いことを知らねばなりませぬ。

以上掲げた個條の中にはそれぞれ輕重はあつても、皆人の知つて居なければならぬ必要な事項であります材料の選び方に就ては、次にやゝ詳しい説明を加へて置きます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

(甲) 蛋白質

(一)、同じ種類の食物の中では安いものを選ぶことであります。

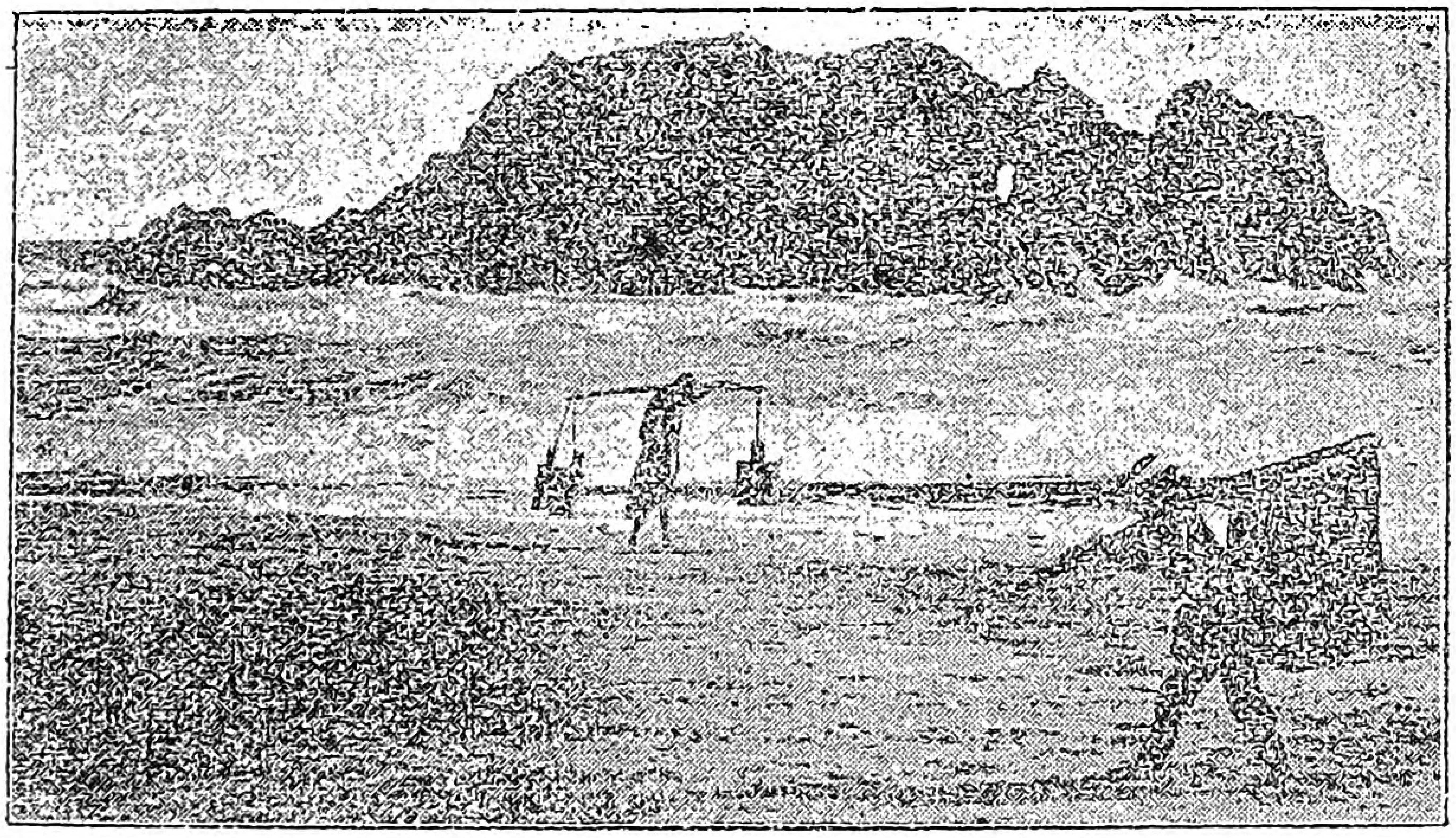
例へば獸鳥肉では牛肉や鷄肉よりも豚肉、豚肉よりも馬肉といふ樣にするのであります。馬肉は牛肉に比べて少しも卑しい食物では無いのであります。料理の法さへ宜しければ、美味しく食べられて且榮養上には優るところありとも劣るところはありませぬ、又同じ肉の中でも小間切肉は安くても榮養上には劣等ではないのであります又老獸の硬い肉も細挫して食用せば、幼獸の肉の如く能く消化吸收せられるのであります又胃や腸や子宮やは肉が白く軟かくて、鳥の肉と酷く似た結構な榮養品であります。肝臟、膵臟、腎臟、心臟、脾臟、腦髓、乳房など種々の臟物も安くて味は劣るが一般肉類と同等の榮養價を有つものであります。

今試みに此等の諸品に就て、其市價と榮養上の價値との概略を比較して見ませう。即ち其含む蛋白質の量よりこれを計算すると

牛肉最上ヒレー	百匁壹圓四十錢のもの	二十五匁	代三十五錢	は
牛肉並等	百匁八十錢のもの	二十五匁	代二十錢	に
鷄肉	百匁壹圓のもの	二十四匁餘	代二十四錢二厘	に
豚肉一等	百匁六十六錢のもの	三十六匁餘	代二十四錢	に
豚肉三等	百匁五十錢のもの	三十六匁餘	代十八錢	に
馬肉最上ヒレー	百匁四十錢のもの	二十一匁弱	代八錢三厘	に
馬バラ肉	百匁二十六錢のもの	二十一匁弱	代五錢四厘	に

當ります

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN



＊銚子海岸の勇ましい漁夫＊

漁村の處女會

一　新島の處女會

伊豆七島の一つの新島の役所から今度島に處女會をこしらへるので地方のよい處女會の會則や仕事などを知らせてくれるようにとの照會がございました。新島は東京から七十三里、島は東西二十町、南北三里、まわりは六里あります。

處女會といへば主もに農村のものゝようにばかり考へてゐるのは間違ひ、漁村にも澤山處女會があり、なか〳〵立派な働きをしてゐる地方があります。海と山とは日本の寶、海も美しい自然、山も美しい自然、是からは海と山とが都會を救ふのです。よい空氣を送り、新らしい魚と新らしい野菜と、剛健の精神とを都會に送つて、日本全體を山のようにしつかりと、海のようにをだやかにするのです。

私は新島にゆきたくなりました。新島から三宅島から御藏島からそれから、鳥も通はぬ八丈島へ！

新島の處女たちよ、清い處女たちよ。自然のような美しい芳ばしい處女會をつくりなさい。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

二　難船の救護

漁村のよい處女會の二つ三つをお披露しませう

三重縣の志摩郡の安乘村處女會は明治四十五年の紀元節に生れ、二百人に近い會員を有して、いろ〳〵の方面に活動してゐますが、勇ましいのは難船の救護であります。海が荒れて船が難儀すると聞きますと、夜よなかでも處女會員がはね起きて甲斐〴〵しく救助に向ひます。毎年二三回はこういふ勇ましい働きをすると申します。

それから泊浦といふ港が風波の爲に埋れて船の出入に都合が惡くなりましたので、御大典記念事業として大正四年七月十一日より二日間百四十五人宛處女會員が人夫となつて働きまして、とうとう港を掘つてよくしました。

三　井戸掃除と磯掃除

同じ郡の和具村處女會は明治四十三年三月に生れた處女會でありますが此處でも難破船の救護や又船曳場の修繕をやつて居ります。

鳥羽町の小濱處女會は明治四十二年六月に生れまして七十名に近い會員がありますが、毎月一回づゝ（夏は二度）共同井戸九ヶ所の大掃除をして父兄からありがたがられてゐます。尚大正二年から海羅の養殖をして其の利益を積み立つてゐます

同じ郡の畔名村處女會は毎年一回會員總出で磯掃除をしてゐます。

此外鮑を養殖したり、海草を殖ゑつけたり、海岸に防風林をつくつたりして、村の爲に盡くしてゐる處女會が少くありませぬ。

漁村といへば、風儀のわるい所と考へてゐた人もありませうが、今では青年會も出來てたいへんよくなりました、その上こういふ立派な處女が身を修め、家の爲、村の爲にまじめに働いてゐますので、風俗といひ、敎育といひ、却つてなまじつかの町より優つてゐます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

二宮婦美子

―尊德先生の一人娘―

静かに天と地と人との大德を考へると、吾人々類は其の生命の決して徒事でないといふ事が解かる

父母の根元は天地の令命にあり
身體の根元は父母の生育にあり
子孫の相續は夫婦の丹精にあり

* * *

父母の富貴は祖先の勤功にあり
吾が身の富貴は父母の積善にあり
子孫の富貴は自己の勤勞にあり

* * *

身命の長養は衣食住の三にあり
衣食住の三は田畑山林にあり
田畑山林は人民の勤耕にあり

(一) 報德の精神

奇峰女史とは二宮尊德の一人娘たる婦美子の雅號である茲に此の淑德勝ぐれたる女史の生涯を語る前に一應報德教の大意を話し置く必要がある。

報德教の大意を知らずして奇峰女史を見るは、恰も霞を隔てゝ月を見るが如き感がある。

報德教の主とする所は、天地人三才の大德に報ゆるに至誠を主として人間が勤儉讓の小德を以て報ゆるのでいはゆる德に報ゆるに德を以てするもので、報德の名は實に之に依て起つたのである。

見よ、天に日月かゝり、地に山川あり、人は此世に生まれて相助け相賴りて生を營むのである、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

＊＊

今年の衣食は昨年の產業にあり
來年の衣食は今年の艱難にあり
年々歲々報德を忘る可からず

とは二宮翁の敎へ殘された金科玉條である、されば、此の敎育に由つて人と成つた奇峰女史が一際勝ぐれたる婦德を備へゐたのは當然である。

（二）婦美子の家庭敎育

女史の生れたのは、文政七年であつた、家には兄の彌太郞尊行との二人きりであつたから、尊德夫妻の寵愛は一方ならぬものであつた、されど、女史の生まれた當時は二宮翁が櫻町を興復する事業が最も困難な時であつたから翁は每朝未明に起き出で、夜は深更に家に歸ると云ふ有樣で、晝は其の家門を過ぎても立ち寄らない程の忙しさであつたから、彌太郞婦美子の二子も顏を合はす事すら尠いのであつた。

されば此の二子の敎育は一に貞淑なる尊德夫人によつて躾せられたので、翁は我子の長じゆくを知らぬと云ふ有樣であつた。

翁が成田の不動に籠つて三七日が間、斷食の行をしたのは婦美子が五歲の春で、其れから運が開けて、婦美子十一歲の時には、彌太郞十四歲尊德翁は四十八歲であつた。

當時尊德翁は熟々と過ぎ來し方を考へると、翁が少年時代に其父を亡くした時と親子兄弟の年齡が符號するが自分は幸に無事で一家團欒の樂を享くる事が出來るのは誠に有り難いといふ所から、亡父の供養と自分の身祝とを兼ねて、陣屋一同に蕎麥を饗應された事があつた。

此年京都の書家の不退堂といふ人物が二宮家を訪づれた、此人は本名は倉田耕之進と言つて、曾て京都で千疊敷の大文字を書いて名を取つた人で諸國を遊歷して尊德翁を尋ねて、其の人物に尠からず感じて遂に弟子と成つて、長く二宮家に滯在

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

したのである。

されば尊徳翁は婦美子と彌太郎との爲に、此の不退堂を家庭教師として讀書や習字を學ばしめた其後不退堂の江戸に移るに及むでは若林欽行といふ人を家庭教師としたのである。

また婦美子は十二歳の頃から大岡雲峰といふ人に畫を學むだ、其の奇峰といふ號は此人から附けて貰つたので其畫は非常に上達して之を見る者で褒めないものは無かつた。

（三）婦美子の孝養

要するに婦美子は書畫に堪能なるのみならず、裁縫、料理、其他の女藝は主として其母の教育を受けて、何れの道にも秀で特に其心立優しく父の尊徳翁が在宅の折には一種の書き役として夜の更くるまで其側に侍つて、書籍や、帳簿や、計算書などを讀むのが其の勤めであつた。

これは畢竟尊徳翁が非常に忙しい身分で晝間は其樣なものを讀む暇が無いので夜間一通りの事務を終へて、今の十一時か十二時かに寢る、寢てから婦美子が枕元に坐つて右の書類を讀み上ぐると、尊徳翁は其れを聽きつゝ指圖して果ては眠るといふのが常例であつた。

平和きれんゑはがき

また二宮家には其の一家族が耕作する報徳田といふ田地があつた、されば婦美子は其の幼少の時

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

から此の田地の耕作をも手傳つた、家庭園藝にも巧で二宮家から江戸の知邊に送る農作物は大抵は婦美子の丹精によつたのといふ事である。

（四）　新郎新婦の雙美

二宮翁の家庭は極めて質素で、いはゆる單汁單菜で、

　飯と汁、木棉着物ぞ身をたすく
　　その餘は我を責むるのみなり

と翁の歌つた主義を行つて用を節して人を愛しても尙其の祿米は年々に餘つて極めて裕福であつた、されば婦美子の長ずるに及むで其母の歌子は我子の爲に特に縮緬の衣物を拵らへて、之を簞笥に入れて嫁入の時機を待つてゐた。

　スルト、一條の緣談が持ち上つた、其の花婿といふは尊德の門下の富田高慶であつた。

　此の富田といふ人物は奥州の相馬中村藩の人で其頃中村藩は非常に疲弊して、最早藩主も藩士も農工商の人々も立ち行かぬ姿と成つたので、富田は如何にもして其國を興して人民を救ひ度いと思つて、遠く江戸に出で、昌平黌に學び有名なる學者を尋ねて國を興し民を救ふの道を聞いても一向に要領を得ないで大に失望して居ると、フト下野に二宮金次郎といふ學者があつて、民を救ひ業を興した數が多いといふ事を聞き込むで櫻町の陣屋に尊德翁を尋ねて遂に弟子入した人である。

　尊德翁も、歌子夫人も婦美子女史も共に富田の人物を知つてゐたから其の緣談は急に纒つて、時は恰も嘉永五年の秋、黄道吉日を選むで玆に結婚式を擧ぐる事に成つた。

　かくて、婦美子女史が愈々相馬に向つて出立する時に、尊德翁は縱令一生に一度の婚禮とは言へ今日相馬中村藩の大仕法中に縮緬服は謹まなければならぬといふので、折角出來上つた嫁入衣裳は一枚も之を用ゐないで、質素なる装で遙々相馬に向つたのである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女會にすゝめたい二ツ三ツ

＝すぐ實行しなさい＝

はあながち工女たちの風儀が惡いからでなく、男工の罪が多いのです。一般に工場の風儀は紊れてゐるさうです。

皆さんのお友達がこうして病氣になつたら、墮落したりしてゐるのをみて、皆様はヂツとして居られますか。

其で私は先づ第一に、皆さんに、附近の工場の様子をよく調べることをすゝめます。さうして皆さんのお村から出てゐる工女の身の上をすつかり調べて下さい。

（一）工場を調べること

毎年のしらべによりますと紡績工女になるものが毎年平均二十萬人、其中一年經つて田舍に歸るものが八萬人、あとは、工場に殘つてゐます。歸る八萬人の中四萬人は肺病で、其中の一萬三千人はもう死にかかつてゐるさうです。

歸らない工女も多くは肺病、胃腸病、脚氣で、毎年千人の中三十人づゝ死ぬさうです。其から少し申しにくいが、花柳病の患者も多いのです。是

○○村出身工女一覽（大正八年八月現在）

工場の名	村を出た年月	待遇		姓名	年	備考

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

○○紡績工場	明治四十五年二月	日給　一圓	二女	太田ふゆ	一八	毎月送金五圓
○○製絲工場	大正五年八月	日給　八十錢	三女	花村よし	二〇	大正七年七月歸鄉

こんな帳面をこしらへて置くと便利です。

（二）　工女は女の兵營

次はこの姉妹の工女達と皆樣又は處女會とよく連絡をとるやうにしたいのです。自分の町や村を遠く離れてゐますと。故鄉戀しいものです。早くお金を貯めて歸りたいと思ひます。こういふ時に故里の友達から便りをされますと、一層愛鄉心をもつようになり、行ひもつつしみます。

皆樣は固より處女會として毎月一回なり二月に一回なり工場に宛てゝ工女達に慰めの手紙をあげて下さい。皆さんの兄さん達の靑年會では、兵營にいつてゐます兄弟に慰問の手紙を出すでせう。又時に兵營を視察して慰めませう。其と同じとです。工場は女の兵營です。慰めの手紙には、お家の樣子をくわしくかいて心配しないやうに勵ませ故里のやうすをもよくかきしるし處女會のこともかき、情のこもつた文章として欲しいのです。又時には村の果物なんぞを送つて下さい。栗もよし、お芋もよし、西瓜もよし、こうされると、工女達の鼻も高くなります。故里から忘れられると、女は墮落し易いのです。

其からお月見の晩なんぞには大勢寄り合つて、今ごろ何してゐるでせう、夜業をやつてさぞ苦しいでせう、ひとつ慰めながら何か書き集めませうと大勢のお友達で、手紙や感じを書き集め、其をひとまとめにして、工場のお友達に送るのもなつかしいでせう、又時に運動會や遠足會をして、工場を視察しなさい、名所見物よりも大切なことです。

（三）　會長さんに望む

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

倘處女會長は、特に工場のことに注意し、現在工場にゐます工女に就ては、よく其の連絡をとるようにし衞生、風紀などの注意を與へ、なるべく毎年一回の歸郷をすすめて下さい。其から處女會に對しては、工場に關する智識を授け、工女になるものに對しては、倘一層よく之に就ての心得を説いて下さい。さうして一方には工場と連絡を保つて、會長自身處女をつれて工場に參る位にしたいのです。周旋人の口車に乘せられて、工場にゆかぬ中に處女たる誇を失つたり、いざいつてみると趣味もなにもなく、骨身を削られ、取つたお金はだまされて男工にとられるといふような氣の毒が多いのです。ひと肌ぬいで下さい。今や處女會が社會政策を實行する時代が來ました。處女會と女學校との握手をすすめ、處女會と工場との提携を圖ることが大事です。

大分縣の下毛郡の小楠村處女會では三十人の工女を出してゐますが、工女になる條件として、處女會のある日には、工場を休んでよいといふことになつてゐます。これでなければなりません。

懸賞新考へ物

説明

川の岸に一人の娘さんが腰がけて何をしてゐるでせう。向ふを通る人にみされてゐるでせうか。それとも何か考えてゐるでせうか。考へてゐるなら何を考へてゐるでせう。なるべく面白く、奇抜に想象して下さい。ごほうびをあげます。

口用紙ははがきにて八月十五日〆切。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

婦女會則

富山縣射水郡 婦人會規約

第一章　名稱及位置

第一條　本會ハ射水郡婦女會ト稱ス

第二條　本會ハ事務所ヲ射水郡役所内ニ置ク

第二章　目的

第三條　本會ハ日本婦人タルノ美德ヲ進メ時勢ノ進歩ニ伴ヒ須要ナル常識及技能ヲ習得シ家庭並ニ社會ニ在リテ溫良强健ナル婦女タルノ修養ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第三章　會員

第四條　本會ノ會員ハ本郡内居住ノ婦女ニシテ義務敎育修了後年齡二十五歳以下ノ者トシ分チテ左ノ二種トス

妹ノ會員　未婚者
姉ノ會員　既婚者

第四章　役員

第五條　本會ニ左ノ役員ヲ置ク

一顧問　一名　一理事長　一名
一會長　一名　一理事　若干名
一副會長　一名　一幹事　若干名

第六條　顧問ニハ射水郡長ヲ、會長ニハ同夫人ヲ推戴ス

○子守歌

一わたしや東洋の日本生れ　知つて居ります國體を
一歌を謡ふならよい歌うたへ　きいてきゝよし謡ひよし
一注意しなされ三つ子のくせは　百になるまでなほりやせぬ
一しまつなされよ一厘づゝの　塵も積れば山となる
一顔のよごれは洗へば落ちる　身から出た錆や落ちやせぬ
一人のふり見て我がふり直せ　人も我ふり見て直せ
一道もいろ〳〵大道小路

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

副會長ハ理事會議ニ於テ銓衡シ顧問ノ承認ヲ受ケ會長之ヲ囑託ス
理事長及理事ハ顧問ノ承認ヲ受ケ會長之ヲ囑託ス
幹事ハ會長之ヲ囑託ス

第七條　顧問ハ本會ヲ指導シ會ノ要務ニ干與ス
會長ハ本會ヲ代表シ會務ヲ總理ス
副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス
理事長ハ會長ノ旨ヲ受ケ會務ヲ處理シ理事會議ノ議長タルモノトス
幹事ハ庶務ニ從事ス

第八條　本會ノ事業ヲ翼賛スル篤志ノ婦人ハ會長之ヲ賛助員ニ推薦ス

第五章　事業

第九條　第三條ノ目的ヲ達スル爲メ本會ニ於テ行フ事業ノ概目左ノ如シ

一、婦人精神修養並ニ行儀作法ニ關スル講習講話
一、慶弔、慰問、敬老、慈善、救濟ニ關スル事業
一、風紀ノ改善、美風ノ振興ニ關スル實行規約ノ導守
一、善行美擧ノ表彰
一、日曜學校、祝日學校、溫習會其他女子補習敎育ノ奬勵
一、裁縫技藝、副業、料理等其他實業ニ關スル實習
一、社會見學
一、婦女ニ關スル展覧會ノ開設
一、書籍ノ回覧
一、雜誌、通信等ノ發行
一、女子ニ適切ナル勤勞的公共事業
一、體育ノ奬勵並ニ衛生思想ノ向上ニ關スル事項
一、高尚ナル趣味娛樂ノ養成ニ關スル事項
一、總會其他會員諸集會ノ開催
一、其他適切ト認ムル事項

第六章　經費

第十條　本會ノ經費ハ會員ノ會費寄附金及補助金其他ノ收入ヲ以テ之

迷ふまいぞへ人の道

一三日飼ふたら犬でも恩を
　三年間は忘れやせぬ

一食ふて着てれて給金もろて
　主の御恩が忘られやうか

一まろい明るい三五の月も
　雲がかゝれば黒くなる

一人は義理つく文字を見ても
　あい見互のもたれあい

一身にはつゝれをまとうて居れど
　心にきるのはあやにしき

一ゑらびなされよ我子のもりは
　守の仕業を子がまねる

一出世しなされ御出世なされ
　一等勳賞さげなされ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

ニ充ツ

第十一條　本會ノ豫算ハ每年度役員會議ニ於テ之ヲ定メ決算ハ支部長會議ニ報告スルモノトス

第十二條　本會ハ地方ニ支部ヲ置ク

第十三條　支部ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第十四條　本則竝ニ支部ニ關スル規程ノ變更ハ役員會議ノ決議ニ依ルモノトス

支部規則

第一條　支部ノ設置ハ町村ヲ以テ區域トス但土地ノ情況ニヨリ小學校通學區域ヲ以テ定ムルコトアルベシ

第二條　支部事務所ハ其所在地ノ小學校内ニ置ク

第三條　支部ニ左ノ役員ヲ置ク

一、支部顧問　一名若ハ二名
一、支部長　一名
一、支部副長　一名
一、支部理事　若干名
一、支部幹事　若干名

第四條　支部顧問及支部長ハ本會顧問ノ承認ヲウケ會長之ヲ囑託ス
支部副長及支部理事ハ支部顧問ノ承認ヲウケ支部長ノ推薦ニ依リ會長之ヲ囑託ス
支部幹事ハ會員中ヨリ支部長之ヲ囑託ス

第五條　支部役員ノ職務ハ本會規則第七條ニ準ズ

第六條　支部ノ事務ヲ翼賛スル篤志婦人ハ支部長之ヲ支務贊助員ニ推薦ス

第七條　支部ニ於テハ本會規則第九條ノ事業概目ニ據リ尚地方ノ實情ヲ參酌シ之ガ遂行ヲ圖ルモノトス

第八條　支部ニ關スル經費ハ所屬會員ノ據金寄附金及補助金其他ノ收ヲ以テ之ニ充ツ

第九條　支部豫算ハ支部役員ニ於テ定メ支部總會ニ於テ之ヲ報告ス

一 朝ねする人鳥がなぶる　家もやしきも買ふ〱さ

一 守は器で子供は水よ　水は器のやうになる

一 仕事しなされ朝起ならへ　人に言葉をかけならへ

一 圓いまんまる三五の月も　暗さなる夜もあるわいな

一 道を通るなら物言て通れ　あつい寒いさ言て通れ

一 庭のまがきのあの梅の木は　寒さ凌いで花が咲く

一 親の意見さ茄子の花は　千に一つのむだもない

一 梅はかほりよ櫻は花よ　人は見めよのただこゝろ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

お笑ひ話

◎なるほど

『さあみなさん、みなさんがお兄さんから犬の子を二疋、伯母さんから一疋貰つたとすると、じぶんの犬の子は何疋になりますか』

先生先生つと大勢手をあげます。

『三郎さんいつてごらんなさい』

『先生四疋になります』

『二疋と一疋ですよ』

『だつて私のは一疋前からありますから……』

◎虫ではないよ

花子さんが病氣で寢てゐます。蛔虫がゐると見えて、ムヅがつてしかたがありません。すると親類の伯父さんがお見えになりました。お母さんが、

『困ります、花子が蟲でございまして』

と申しますと、寢てゐた花ちやん、

『お母ちやんあたい蟲ぢやないわ』

◎石炭をこしらへる

『なぜ石を火の中に入れるのです』

『炭は木を燒いてこしらへますから、石を燒いて石炭をこしらへるのです』

◎乳母はバカ

房子『母ちやん、こんど來た乳母はバカネ』

母『どうしてネ』

房子『だつて一尺と一時間とどつちが永いのときいたらソンなこと知らないつて……』

◎お父さんの立食

母『坊やお前お菓子を表で立つて食べたりするんぢやありません、お行儀がわるいぢやありませんか』

三郎『それぢやお父さんのやうにお鮨ならいゝの』

◎父ちやんの子

雪子『お母さんはお父さんの子なの』

こういひますので、お母さんは笑つて、

母『雪ちやんはをかしなことといひますね、そんなことがあるものかね、雪ちやんがお父さんの子なのヨ』

雪子『だつてお母さんもお父さんのことを、あたいのやうにお父さん〱と仰言るんですもの』

◎一本參つた

『コレ〱春吉、お前のいたづら者はない、もつとをとなしくしなければいかん、お父さんの子供の時はをとなしかつたヨ』

春吉『あれウソバッかり、お祖父さんがいひましたよ、お父さんの子供の時には坊よりもつといたづらで困つたつて』

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

口繪の説明

名譽の悲哀

逞しい農村の夫婦がうちつれてとり入れをしてゐます。前はひろ〳〵とした海原で、はるかに島も見えます。帆かけ舟が通ります。海はしづかでおだやかで、磯うつ波の音がちやぷん〳〵と聞えます。

「のうお春、伜はそうめんが好きだつけな」

ふと思ひついたやうに、耕三さんは細君に話しかけました。

「大好きだつたよ、其で明後日はお房かこしらへて進ぜるといつてゐただヨ」

「ソーか」

といつたまゝ耕三さんはヂツと考へ込んでゐます。

思へばもう三年になります、耕三さんの一人息子の健造さんは、青島の戰に召されて名譽の戰死をしました。お國の爲めとはいへ夫婦の思ひは、一寸も可愛い〳〵一人息子をはなれません。かうして睦しくとり入れをしてゐても、思ひ出すのです。

うつむいて束ねてゐるお春さんは、夫の氣を和げるやうに、

「明後日はお米のお金が入るつけな、お房はよく働いたから、今年は着物買つてやりたいなあ、耕さん」

福島縣伊達郡 伏黑村母の會

會員 なでしこ 報

私どもの伏黑村は戸數六百戸ほどの村で、母の會は大正二年の十二月に生れました。村の佐々木芳太郎先生其他有志の方々が御熱心におたすけ下さいます。

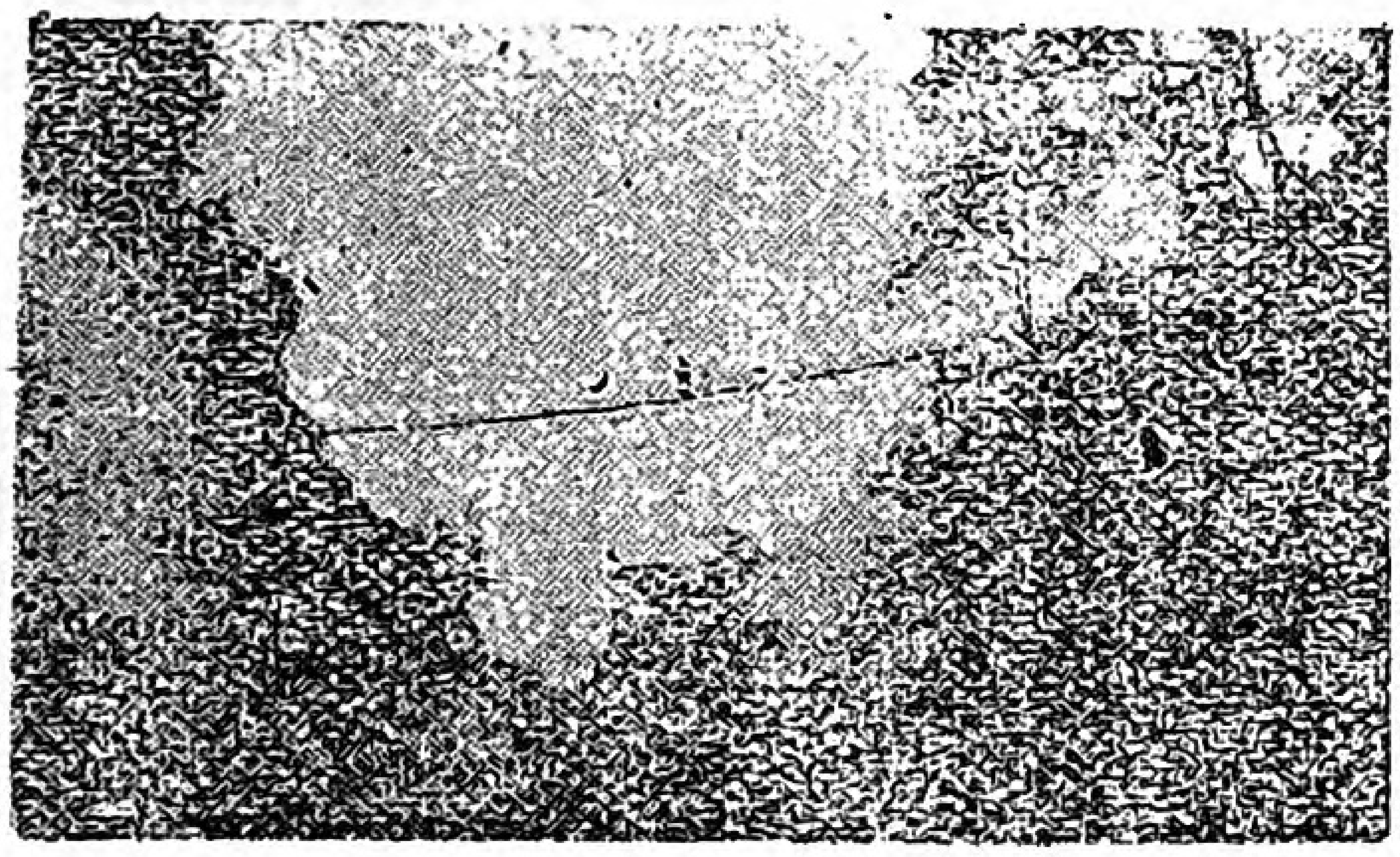
春秋の總會には名士方のお話を伺ひ、毎年修學旅行も致します。二十歳の若き母から六十五六歳の老母に至るまで數十名勢揃ひをして福島まで參り、方々見物致しました。

福島市には、村からお嫁入りした母の方がおいでになりましたので、お晝飯の御馳走になつた上にいろ〳〵お土産をもいたゞきました。來年の秋には二師團を見まして、歸りには松島見物を致す豫定でございます。

一體に養蠶地でございますので、主婦は一層責任も重く、仕事も多うございます。母の會は毎年總會のときに家庭をよくする相談や、村の教育のことや、衛生のことや、風紀のことなどについて相談をすることになつてゐます。皆樣方の『母の會』の御樣子をお知らせ下さいませ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

* * * * *



熊野名勝針金橋

日本三景松島

旅の思ひ出

（一）

松島はほんとうに美しい景色だと思ひました。あの幾百とも知れないさま〴〵の形した岩が、碁石のやうに列んで、其れへ枝振りのよい松が、海の水を吸ふやうに枝を低く垂れて茂つてゐます。其間を帆かけ船が通りますのを眺めてゐますと、何とも言へぬ氣持になります。

松島や又松島や松島や

芭蕉翁が松島をよまうと思つて、眺めてゐますと見る間に景色が變るので思ひがみだれてとう〳〵俳句が出來なかつたのですが、其がかういふよい俳句になつたのです。

（二）

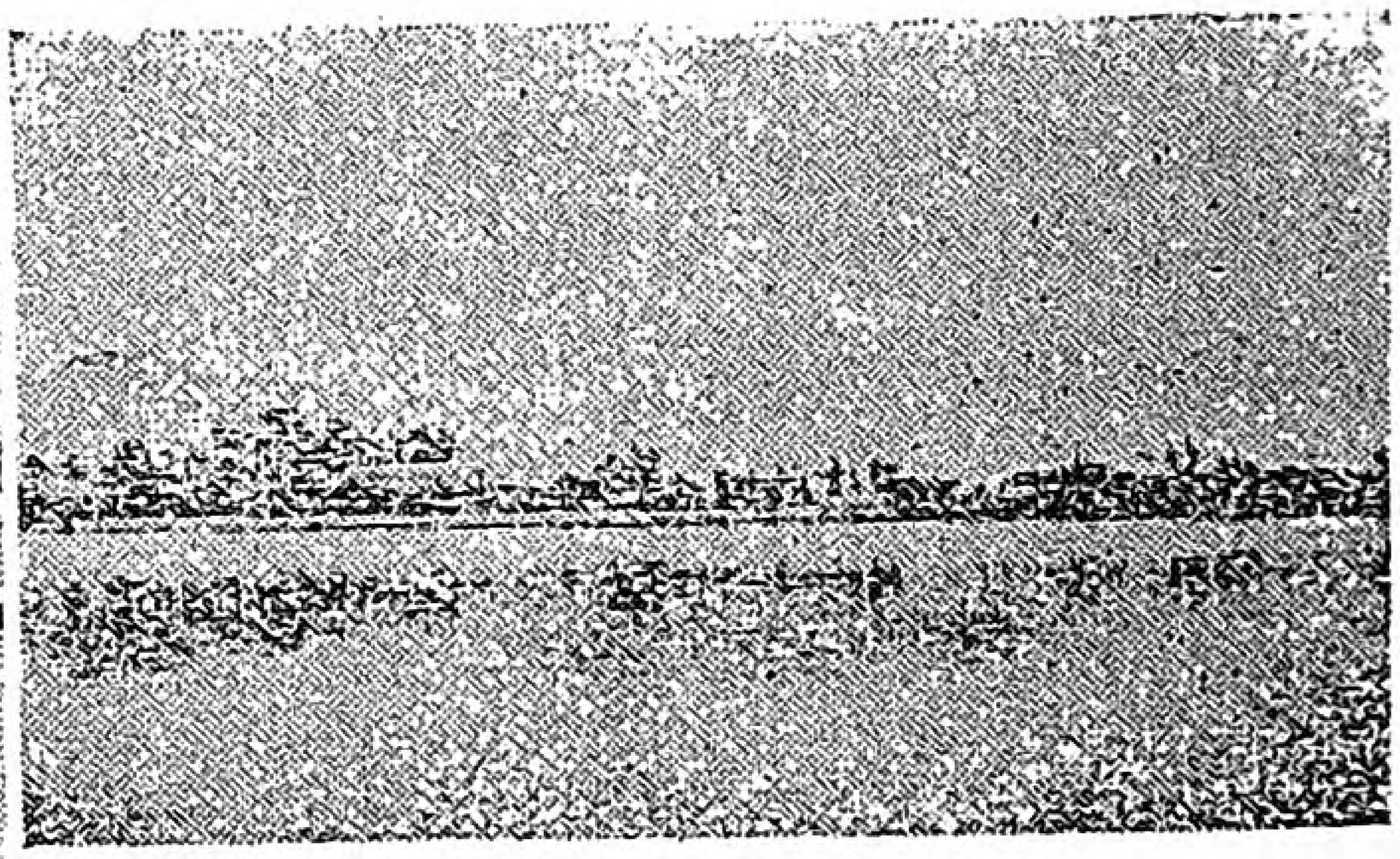
三保の松原は東海道での名所、有度山の裾が清水灣に鶴の嘴のやうに伸びて、興津の清見寺と向ひ合つてゐます。羽衣の松は天女の舞で名高く、三穂神社の境内は公園になつてゐます、富士山をしみじみ眺めやうと思ふ人は、三保に杖をおひきなさい。清水から石油發動機船も出ます。

（三）

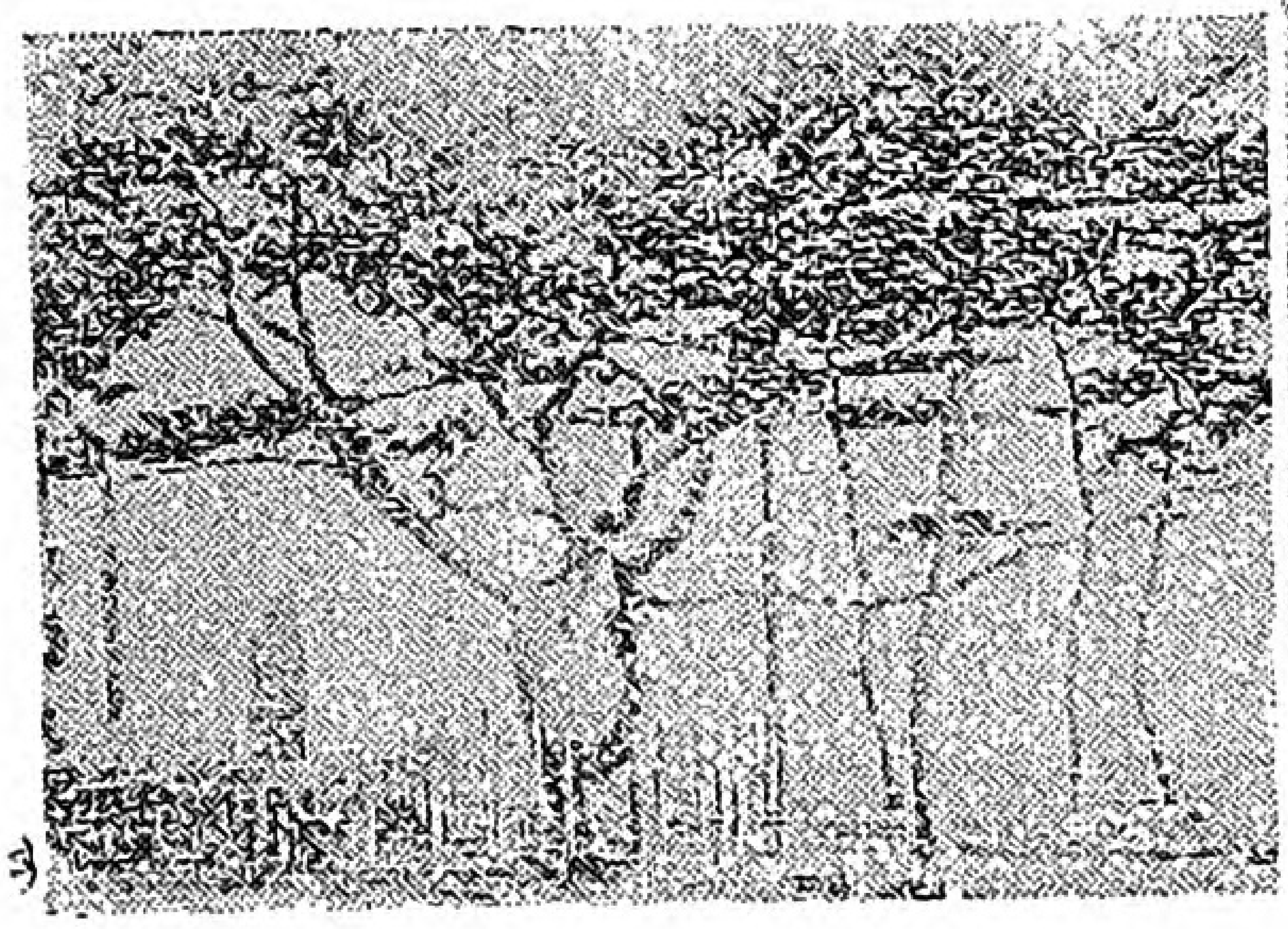
皆樣の中で富士山に登つた方がありますか。近ごろ東京の女學生は頻りに登山をしますので、處女會でもひとつやつてごらんなさい。さうして足の達者なところを、町のお嬢さんにみせてあげなさい。

私は大宮から登りまして、八合目に泊り、あくる朝お來光を拜んで頂上で甘酒のんで、歸りは須走を滑つて御殿場に着きました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



海水港と三保松原



三保羽衣の松

五六年前甲州の身延山に參詣して、歸りに富士川を下つたこともなつかしい思ひ出であります。甲斐の御嶽山にも杖をひきました。雄大な景色であります。

（四）

岩代の猪苗代湖もなつかしい湖水と思ひました。磐梯山のふもとの町の宿で伴れになつた青年と語り合つたこともなつかしい。鯉こくはおいしかつた。盆踊りを見た思ひ出も忘られません。

甲斐の猿橋は評判ほどでもありませんでした。あの近所の町の娘が家の前を流れる小川に糸車をかけ、いゝ聲して歌をうたつてゐたのを聞いたときは、なつかしく思ひました。

御殿場から籠坂峠を越して、山中湖をみたときには、胸が跳りました。あすこの茶屋で賣つてゐた一ぱい五厘の水も高いとは思ひませんでした。それからガタ馬車にのつて富士の裾野を夕日に照らされ、吉田の里について、風呂に入つて床につきますと、いゝ月が出ました。

（五）

旅は活きた學問です、修養です、人生もひとつの旅です、よい旅づれをつくつて、意義ある旅をしたいものです。私は名所見物もしたいが、其よりも全國の處女會を訪れ、處女たちに會つていろ〳〵話しの出來るような旅がしてみたい。皆さんの家へ泊めてくれますか、それから出來るならば地方の處女たちと一所に、名所見物がしてみたい。町の人も田舍の人もみなこの世の旅人です、其の旅人をみんな仲のよい道伴れにしたい。兄妹のやうに。（あまの）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

重役の奧さんと土地の娘さん

◎別莊の主人の困りもの

景色のよい所には別莊があります、又近ごろ田舍に工場が出來まして、その附近に重役の社宅が澤山建ちました。別莊の主人や家族や、重役や奧さんなどは、ほんとうの土地の人ではありませぬが、緣あつて、その土地に來て住んでゐれば、まづその土地の人として、その土地を愛し、その土地の誰彼と親しくならねばなりませぬ。

所がなか〳〵さういふなつかしい仲柄になる人が少く、中には却つて都の贅澤な風を質朴な土地へ傳染させたり、風儀を紊したりします。地方改良の上からいつても却つて邪魔物です。ある所の別莊では主人が東京から藝妓をよんでさわいだ爲に、村の娘がそのきれいな着物に迷はされて困つたと申ます。

◎工女と淑女會

所がその重役の奧さん娘さん達が、よく土地の娘さんと結び合つて土地の爲に盡くしてゐるよい村を私はみて來ましたから御披露します。

其は東京府下の金町村です、名高い帝釋天はこゝから近いのです。町といつても村で、戶數が四百戶ばかり、田と畑が資本の村です。こゝに金町村の淑女會が出來てゐますが、その總會を拜見に參つたのです、時はお盆の十五日いゝお天氣でした。

この村の附近に三菱の製紙會社が出來ましたので處女たちは、そこに通ひます。淑女會員で通つてゐるものも、澤山あります。そこで工場と淑女會の連絡といふことが必要となります。所がどちらから御願ひしたのか知りませぬが、その會社の重役の奧

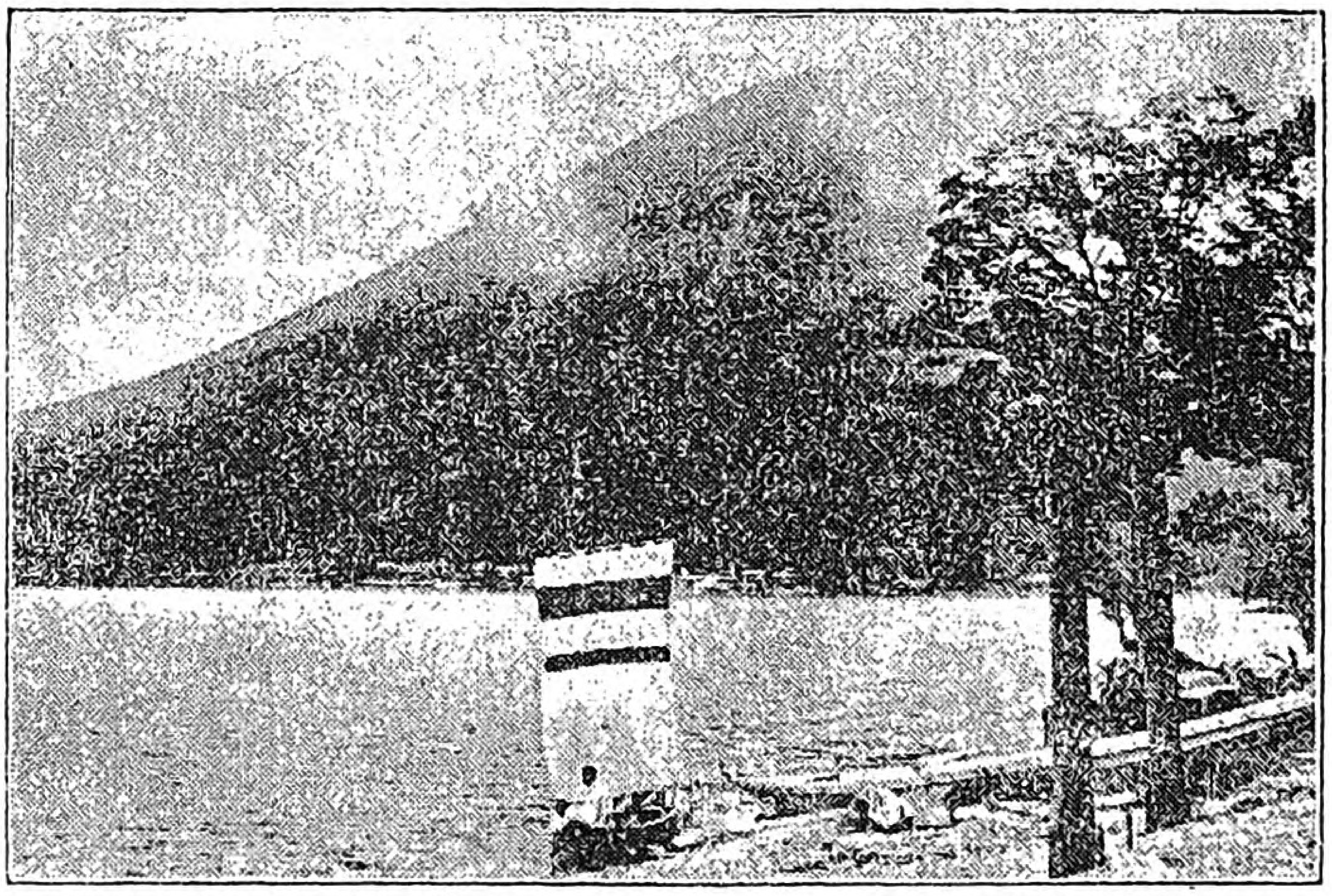
Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

さん達は、淑女會の役員になつて熱心に村の娘さん達の爲に盡してゐられます。其が私の一番うれしかつたことでございました。

◎重役の娘さんの琴

會は二時から始まり岡田郡長と羽仁もと子さんのお話について、私は田舍の處女に望むといふ題で方々の處女會の様子や感心な娘さんの實例などを話しました。餘興に重役の娘さん達の琴があり、活人畫もあり唱歌もありました。

この日は會員は固より會社の奥さん娘さん達や村の主婦の方も大勢見えました。村に住んでゐる人はみな兄妹です。かうしてみんな集つて修養し、娯樂するといふことはたふといことです。



おいとまして歸りますとき、幹事の方が『けふ淑女會はかういふことを相談してきめました』といつて、印刷ものを下すつた。其を次に御覧に入れます。

◎その日の相談

(一)本會主催にて來る八月一日より七日までお料理(重に日本料理手輕な菓子の作り方、簡單なる西洋料理二三種)の講習を開きたいと存じますが御賛成下さい

(二)會として會員の慶弔の場合に心ばかりの事を致したいと存じますが如何でせうか。

(三)會員全部が毎月少しづゝ心掛けて貯金を致したいと存じます、どうぞ以上の三ケ條について御遠慮なく御意見を御もらし下さいませ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女新聞

第七號

婦女新聞社

避暑と虚榮

あなた今年はどちらへ避暑なさるなんぞと話し合ふ、町のお金持のお孃さんもありますが、其はごく少しで大抵の勤め人は避暑どころか、お米が高くて、物價が高くてヘトヘトになつてゐます。また中には痩我慢して箱根、大磯あたりへゆき百姓家の夕日のさす二階の一間位を借りきつて五人も六人もごろ寝をし、あつい〳〵とこぼしながら避暑してゐる人もあるさうです。そこへゆくとお百姓や漁師は年中避暑してゐるやうなものです。日中の仕事はあついが、夕がた行水を使つて月を眺めながら枝豆でもかじる時の氣持たらありません

扇風器で死んだ人

さつ〳〵と稲田を渉つて吹いて來る風は青くて涼しい山から來る風もいい。海もよい、埃がないからです。扇風器を御存知でせう。あれは機械の風、電氣の風、文明の重寶だがやかましくて自然の風ほどなつかしくない。大阪のある婦人が二人扇風器をかけて涼んでゐました、さウトウト居睡り始めました。さめたさきには二人とも死んでゐたさうです。器械の風は毒と見えます。

好きな花

私は百合が大好き、あの花をみますと氣も心もけだかくなつて、丁度鏡にでも向つてゐるやうな氣がします。山路を分けて、百合の花を取りにいつた子供のころが思ひ出されます。皆さん百合は處女のやうです。優しくしとやかで、おちついて、そして上品ですもの。

蓮の花もきれいです。昔から君子の花としてゐます。泥の中から出てあんなによい香りがします。ふしぎのやうですね。生れつきです眞にうるわしい處女は田舎にあります。

おねがひ

皆さんのお土地の出來事、産物、子守唄、感心な人のお話、口碑傳説、年中行事、名所の寫眞、古跡の由來など是からドシ〳〵送つて下さい。雜誌に掲げます。「處女の友」を皆様十分に利用して下さい。相談にも應じますから身の上のこと身體のこと、なんでも打ち明けなさい、是からの世の中はウソやお體裁はだめです。

夏の夜

夏の夜は蚊をきずにして五百兩
　もとの千兩になほす蚊遣火

夏の夜はまだ宵ながら明けぬるを
　雲のいづこに月やどるらむ

庭の面はまだかわかぬに夕立の
　空さりげなく澄める月かな

夕顔の花しらじらと咲き出でゝ
　賤が伏屋に馬洗ひをり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

全國處女會 婦人會 主婦會 一覽（其の一）

はしがき

前號から百名以上の全國處女會婦人會の一覽表をかかげることに致しましたが、百名を限ることは意味のないことでありますので、今度は全體の一覽表を揭げます。然し次の各項を御含み置き下さい。

一、大正七年の七八月の郡役所の調査でありますから現在はもつと〳〵ふえて居ます。新たに出來ました地方は至急御知らせ下さい。

二、娘の會や婦女會や同窓會も處女會と見なして加へました。會の名を改めた所も澤山あるやうであります。至急お知らせ下さい。

三、郡役所の回答してくれませぬ地方は殘念ながら載りませぬ。その中再調査を致したく思ひます。

四、表の中會員數や會長など變つた地方では御面倒ながら中央部へお知らせ下さい。

滋賀縣

名稱	創立年月	會員	會長
犬上郡高宮町處女會	明治四十二年四月	三〇〇	馬場利三郎
同 安山村婦女會	大正四年八月	一二七	竹林富應
同 芹柳同窓會	大正五年八月	二〇一	新樂萬二郎
同 繁滿寺處女會	大正六年十月	五五	辻田豐太郎
東淺井郡西王計處女會	大正元年八月	五二	藤井きわ江

名稱	創立年月	會員數	會長
同 湯田村處女會	大正三年二月	二一〇	北川頁太郎
同 田根村處女會	大正元年十一月	六〇	佐治武房
同 小谷村處女會	大正三年四月	七七	中村光之
同 速水村女子修好會	大正二年二月	八五	高田軍一郎
同 朝日村處女會	大正三年三月	一〇一	北川美波
同 大鄉村處女會	大正五年二月	一九七	關甚三
坂田郡法性寺村處女會	大正五年	一〇〇	伊部重平

京都府

名稱	創立年月	會員數	會長
北桑田郡宇澤村處女會	大正七年八月	四八	眞健勝平
同 宇澤村婦人會	同 七月	一五〇	眞健勝平
同 削村鹽田婦人會	明治四十三年二月	二二	上野捨吉
同 村井崎婦人會	同上	三五	井川源藏
同 村下弓削婦人會	明治四十四年二月	六八	牧豐子
同 村下中婦人會	明治四十三年三月	三五	田中卯三郎
同 村筒江婦人會	明治四十三年八月	五〇	勝山宇之助
同 村澤尻婦人會	明治四十二年三月	三九	佐伯助次郎
同 村十一婦人會	明治四十二年七月	六八	古家傳吉
同 村下用婦人會	明治四十二年二月	四二	大前宇次郎
同 村上川婦人會	明治四十三年三月	四八	米澤多三郎
同 村田貫婦人會	同上	八三	上野安次郎

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

名稱	創立年月	會員數	會長
同山田村養女源校處女會	大正七年二月	九八	日種讓山
同 黒田村廣ヶ原處會	大正七年三月	一二	山本タケヲ
同 平屋村主婦會	大正元年十一月	六一	平井惣吉
同 村内久保婦人會	明治四十三年一月	八三	原田敬子
同 同知井村處女會	大正七年八月	二九	未定
同 村自佐婦人會實習會	大正七年三月	五八	同
同 村北婦人會	大正七年三月		
同 村日歌婦人會	大正七年二月	三二	同
同 村巾婦人會	同 四月	三〇	同
同 村宇芦生婦人會	同 上	二〇	同
同 村知見婦人會	同 五月	五六	同
同 村河内内谷婦人會	同 上	二五	同
同 島校下處女會	同 一月	三六	大東五一郎
同 大野村處女會	同 上	五〇	山内源次郎
同 大野村婦人會	明治四十四年十月	三八	文字可三
加佐郡俊明女子同窓會	大正三年三月	九六	佐藤音藏
同 河西村村處女會	明治四十四年二月	八〇	勝井眷助
同 河東村處女會	同 八月	七五	小墻近大郎
同 南有路處女會	明渡四十三年二月	二二	時井きぬ
同 北有路處女會	同 上	二五	下倉靜子
同 有路下處女會	明治四十年七月	二五	那須馬吉
同 共立據下處女會	大正三年二月	五二	中村猶治郎
同岡田下婦人會處女部	明治四十五年五月	六九	田方千代吉
同丸八江村東雲村聯合處女會	大正四年九月	七八	坩内なほ
同 由良村處女會	大正五年十一月	六六	黒田源丘
同 青井校下處女會	大正六年三月	六五	安念正三
同 高野村處女會	大正二年九月	六五	神谷重進
同 餘内校女子同窓會	大正五年八月	一六九	芦田瀧藏
同 餘部第一校同窓會	明治四十五年一月	五九五	安井計太郎
同 志樂婦女會	明治四十五年六月	六五	福村彌平治

名稱	創立年月	會員數	會長
同 野原處女會	大正四年三月	三五	細見彦之助
同 田井校區處女會	大正四年三月	三六	俄田敬藏
宇治郡山階女子同窓會	大正五年八月	三四五	峡員
同 校友女子同忘會	明治四十三年一月	三〇五	湯䑓弟吉
同 敬慶同窓會	明治四十三年八月	三五	戸田穏紀
泚横大路村濟友會	大正五年十月	六〇	杉原新之助
相樂郡朝倉村處女會	大正六年十月	一一七	今井晴明
同上極村高麗聯合處女會	大正六年十月	一二〇	中西與三吉
同 狛田村處女會	大正七年三月	一二〇	辻久吉
同 稻田村處女會	大正七年一月	六五	福味定一
同 祝園村處女會	大正七年一月	五五	藥山義寛
同 山田莊處女會	大正六年九月	九〇	杉島再吉
同 山田莊東畑處女會	大正六年九月	四一	小西新四郎
同 相樂村處女會	大正六年七月	一二〇	中田菊松
同 森町處女會	大正六年三月	二六〇	津田三郎
同 加茂村處女會	大正六年九月	一四六	土橋芳太郎
同 瓶原村處女會	大正六年十月	七九	毛利猶次郎
同 西和束村處女會	大正六年九月	六二	野呂源右衛門
同 中和束村處女會	大正二年八月	光〇	前出金吾
同 東和束村處女會	大正四年九月	八三	和田滿治
同 湯船村日新處女會	大正元年十月	五一	大谷たかゑ
同 笠置村處女會	大正二年八月	九八	浦辻千吉
同 大河原村處女會	明治四十三年十月	四四	吉本半二
同 高山村田山婦女會	明治四十四年八月	三八	前田清太郎
同 高山村高尾處女會	明治四十四年一月	二二	仲谷倉松
同 當尾村女子同窓會	明治四十四年一月	一六二	稻葉長一

各地處女會寫眞通信募集

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

懸賞處女文藝募集

第一種

作文　題隨意　（三百字以內）

和歌　（題隨意一人三首）

俳句　（題隨意一人三句）

考へ物

習字　（半紙一枚六字）

第二種

處女會の寫眞

田園生活の感想

有利なる副業內職

地方篤志婦人の事蹟

田舍より見たる都會

第三種

處女俱樂部　（はがき一人一通）

衞生問答（一人一問）

處世問答　（一人一問）

通信

樂しかりしお盆もゆめのやうに打過ぎ又もや養蠶多忙な時期とは相成りました御社にては益々御繁昌にて私共に有益な雜誌處女の友御發行の事厚く御禮申上ます七月號の記事中は誠に面白く讀みました中にも岩崎みわ子樣の傳記の中にあつた「淸潔は精神の凱歌」と記された記事等はみにしみました又皆樣の作文の御上手な事とても私などのおよぶところではありません私も此度お盆の夜とをして作りましたのを投書します下手な作文でおはずかしいですが先はお目をけがします。

山口　みれ

○處女の友非常に有益に拜見致し候。何卒私共の味方となつて下されたく御願致し候。（きみ子）

○先生過日は御手紙被下忝く存じ候。私共に御同情被下忝く一同喜び居候。

（群馬縣　花　村）

前號考へ物の答

第五號考へものゝ答は左の通りです。白が三加つたものを三乘すると九白即北海道の地名釧路です。例により正解者多數中につき抽籤の結果左の方々を受賞者とします。

瀧澤やよ（長野縣東筑摩郡五常村）△鈴木きく（靜岡縣小笠郡曾我村）△田中美智子（兵庫縣多紀郡北河內村）△稻村その（群馬縣勢多郡大胡町瀧窪）△鈴木まさ子（靜岡縣濱名郡中瀨村）△淸水いく（千葉縣印旛郡八生村）△猪々ちゑ子（鳥取縣氣高郡神戶村）△沖元艶子（廣島縣豐田郡七谷村）△加藤きく（千葉縣印旛郡八生村）△川元きぬ（滋賀縣蒲生郡市邊村）△松井操（新潟縣東蒲原郡今町）△阿上よれ子（滋賀縣蒲生郡市邊村△上野春（高知縣香美郡在所村）△高盛幸子（廣島縣御調郡市村）△森岡鶴枝高知縣香美郡槇山村）△

新考物題

路の下にゐる鳥は何か。

（〆切八月二十日）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

○編輯便り

○お暑く相成申候。皆様御丈夫に候や。中央部も精々勉强致し候まゝ御安心被下度候。

○中央部は本月二十九日理事會に加へて懇談會を開き名士の意見をも伺ひ將來の發展を圖り申候豫定に御座候。

○卷頭に記載致し候通り天野理事出張致し候まゝ御都合よろしき方は御面接相成度、讀者なれば尚歡迎致し候。

○地方處女會の寫眞通信歡迎致し候。多數お集り被下度願上候。尚文藝並讀者くらぶ澤山に送り被下度、地方處女が互に理解をもち協力出來候はゞ幸甚に御座候。

○今回處女會事務所變更致候儘凡ての書面本郷元町二丁目六十六番地に願上候。長谷川一郎間崎春子、篠原みやの、深谷賢樹諸氏殊に御厄介に預り一同感謝致し居候。○處女會中央部に於て今回講演講師として天野雅彦、坂田秀峰兩氏を囑託として迎へ申候。通俗講演會等有之候節は御申込被下度願上候。

○本誌は毎號畏くも　皇后陛下の御台覽を忝う致し居候。是は誠に無上の光榮に有之候。全國處女會の光榮に御座候。

○夏期休暇を利用して都市と農村との連絡を圖りたく、山脇女學校に於ては、休暇中生徒諸孃に處女會との連絡を圖るよう奬勵致し候由誠に大慶事に御座候。處女會は田園女學校に御座候。女學校と處女會との握手は必要に御座候。

○處女會は工場との連絡をも圖りたく、將來この方面にも力を注ぐ筈に御座候。皆様も工場の研究に力を致されたく候。

○八月號には吉岡彌生、嘉悦孝子諸先生を始め富士登山記、新講談など面白き記事を揭げ候。一人にても讀者おすゝめ被下度願上候。

○時節柄皆様の御健康を祈り申候尚今月は早く編輯致し候まゝ處女文藝は次號に廻し申候。

處女の友定價表

毎月一回一日發行

定價	一部	三ヶ月分	半年分	一年分
定價	拾參錢	參拾九錢	七拾錢	壹圓五拾錢
郵税	壹錢	不要	不要	不要
合計	拾[illegible]錢	參拾九錢	七拾六錢	壹圓五拾錢

廣告料	一頁	半頁
特別面	貳拾五圓	
普通面	拾五圓	九圓

注意

◎御註文は總て前金の事、前金盡きたる節は封紙に「前金切」と捺印して通知に代ふ◎御送金は振替貯金が最も便利なり◎郵券代用は一割增のこと◎外國行は郵税實費を申受く

大正八年七月二十八日印刷納本
大正八年八月一日發行

東京府下淀橋字角筈九十三番地
發行人兼印刷人　福島四郎

編輯人　天野藤男

東京市京橋區弓町十三番地
印刷所　千代田印刷株式會社

東京市本鄉區元町二ノ六六假事務所
發行所　處女會中央部
振替東京六一九〇番

大賣捌　東京堂、東海堂、北隆館、良明堂、至誠堂、上田屋、其他全國の主なる雜誌店

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

創刊以來二十年！

「處女の友」と姉妹關係の週刊新聞

婦女新聞

定價　五週(五部)送料共三十錢△十週(十部)五十八錢△二十週(二十部)一圓十五錢△三十週(三十部)一圓七十錢△五十週(五十部)二圓八十錢(總て送料共)

『處女の友』は處女會々員の修養を目的として發行せらるゝ少女雜誌なり。されば、あまり意味の深遠なるもの、又は社會に對する警醒的文章、或は處女團體の施設に關する評論彙報等は『處女の友』に掲載せられず。而してそれ等を掲載して處女會の指導に任ずる人の參考に資するは婦女新聞なり。婦女新聞は明治三十三年創刊の週刊新聞にして、爾來十九年、每號皇后陛下(東宮妃の御時代より)の台覽を忝うし、全婦人界の公益機關として一貫の主義の下に努力し、特に地方婦人の向上發展の爲めに盡せり。希はくは全國各町村處女會の幹部の人々が、本紙を必讀せられんことを。處女會中央部の消息を最も精確に報道するは本紙なり。昨年十月以後の婦女新聞には、全國各地の處女會及び婦人團體の事績を連載せり。

東京府下淀橋角筈九三　**婦女新聞社**　電話番町一三〇六番　振替東京二八〇七番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

山脇高等女學校長

山脇房子女史述

婦人の日常生活

＝出版早々忽再版＝

四六判二百五十餘頁
最新式裝幀箱入義本
定價　金壹圓參拾錢
郵送料　金六錢

女史快心の名著述

山脇房子女史の、女子教育界に於ける權威者たる事は、世の既に周知する所なり。今女史は、其卓拔なる見識と幾十年の經驗とを傾倒して、以て婦人日常生活を說く。所說丁寧親切文辭通俗平易、現代の婦人が直に以て自己生活の規範とし、平生に處し日常に施して、亦遺憾なからしめんとす。蓋し女史近來快心の名著たるを疑はず。一本を諸姉の座右に薦む。

家庭生活の改造は此の規範に依られたし本書は現代婦人生活の指針なれば也

東京神田區南神保町三　株式會社　日新閣　電話本局二九九一番　振替東京一一三九一番

大正七年十二月二十五日第三種郵便物認可
大正八年七月二十八日印刷納本
大正八年八月一日發行（毎月一回一日發行）

一部定價　金拾參錢

發行所　東京市本郷區元町二丁目六十六（假事務所）　處女會中央部

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN